

# Pino Hause

ピノハウゼ

## ログハウスキット組み立てマニュアル



### Huvilaveistämö

*Ky on valmistanut hirsirakennuksia vuodesta 1967 alkaen, Pohjanmaan kuuluisalla hirrenveistotaidon kokemuksella ja perinteellä.*

**Yrityksen hirsirakennusosaaminen perustuu toisen sukupolven vankkaan osaamiseen.**

**Yrityksen toimialueena on koko Suomi, ja hirsirakennuksia valmistetaan myös vientiin kuten Iso-Britanniaan ja Japaniin.**

**Olemme erikoistuneet höylähirsirakennuksiin, mutta valmistamme myös pyöröhirsirakennuksia.**

**Malliston lisäksi valmistamme myös asiakkaiden omien piirustusten ja toiveiden mukaan.**

**Eristyksenä käytämme aitoa pellavaa malleissa, johon eristys tulee mukaan toimitukseen.**

**Toivomme, että onnistutte hirsitalovalinmassanne!**

当社のログハウスキットの組み立てマニュアルです。よくお読みになって素晴らしいログハウスを完成させて下さい。

1. 荷下ろし。フィンランドkultalahden社から送られてくるLoghouse kitはきちりと養生された梱包で出荷されます。

日本の港に到着されたコンテナは通関終了後に運送会社によってトレーで現場まで運ばれます。トレーはコンテナごと現場へ配送できますが**デバンニング**と言って平ボデーの大型車に積み変えて輸送することも**出来ます**。現場までの道幅や道路事情が悪い場合はこれらをお勧めします。これらは港で積み変えます。その際、生じる経費はショートドレー船会社から通関業者ヤードまでの運賃、積み換え作業費、そして平ボデーの大型車の運賃が別途かかります。これらは現場での荷下ろし作業が安全かつスピーディに行なえます。よって顧客の皆様は事前に運送会社との搬送の日時の打ち合わせが必要になります。また大型クレーン車の手配も必要です。そしてある程度の補佐の人員も必要です。搬送日まえにバタ角材などの梱包を下ろす下地が必要になります。また、大きな養生シートも必要になります。

搬送日は出来るだけ天候の良い日を選んで下さい。荷下ろしはクレーンのオペレーターと段取りよく安全に行ってください。また下ろす場所もその後のログ組み立てに支障のないよう、またスムーズに作業できるように下ろして下さい。おそらくこの作業に1日はかかりますので、あとは部材にシートをきちりとかけて養生してください。

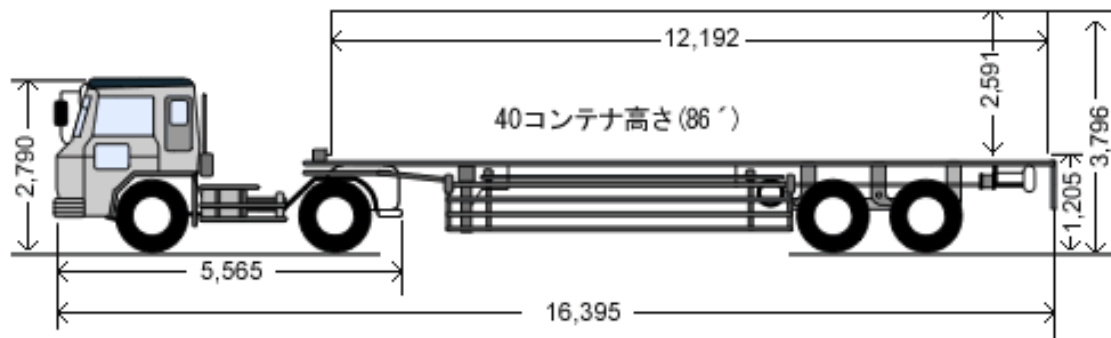


## Self Build

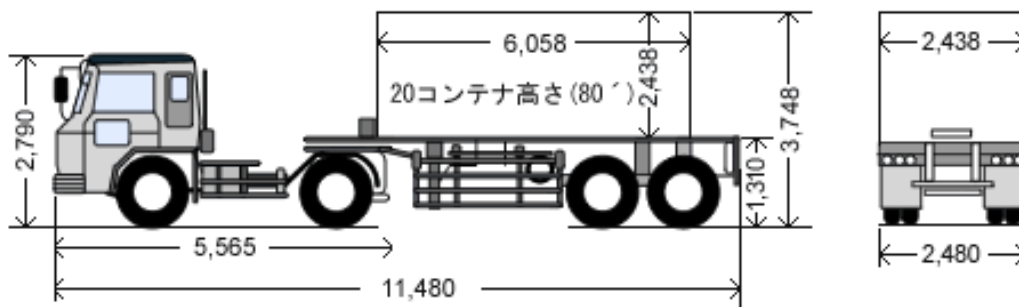
搬送日は出来るだけ天候の良い日を選んで下さい。荷下ろしはクレーンのオペレーターと段取りよく安全に行ってください。また下ろす場所もその後のログ組み立てに支障のないよう、またスムーズに作業できるように下ろして下さい。おそらくこの作業に1日はかかりますので、あとは部材にシートをきっちりとかけて養生してください。

コンテナは清掃返却が基本です。汚れたまま返却するとペナルティが科せられます。下記にコンテナ車のサイズがありますので建築予定地まで搬入可能かどうかを事前に調べておきましょう。

### トラクター+40' シャーシ



### トラクター+20' シャーシ



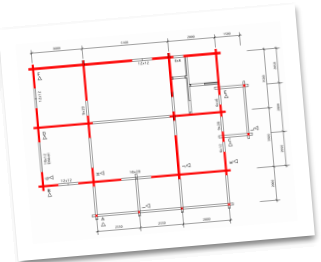
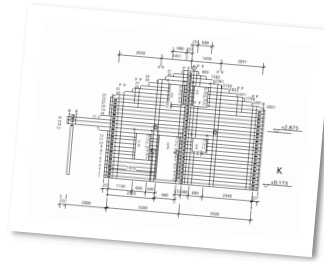
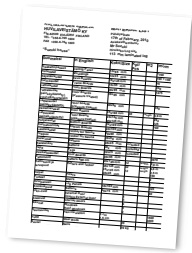


コンテナが到着しますと解放する際にコンテナにプラスチック(中はワイヤー)のロックがかけられて封印されています。これらを解除するにはワイヤーカッター(大)またはグラインダーで切ってください。



解放しますと、建具類は一番手前に配置されています。





## Documents

荷下ろしの際に必要な書類はマテリアルリストとパッキングリストです。マテリアルリストには部材のサイズや数量などが記載されています。パッキングリストにはそれらの部材がコンテナのどの位置に積載されているかが記載されています。段取りよく部材を配置しながら荷下ろしして下さい。組み立て時にはフィンランドから送られてくる壁展開図が必要になります。

コンテナから荷物をクレーンで引き出す場合はワイヤーに設置する頑丈な滑車が必要になりますのでクレーンオペレーターと事前に相談してください。



コンテナから部材を引き出す時に仮置きする台(馬)の件ですが図のような物をあらかじめ作成しておくとう便利です。幅1400位高さ1200位。

10.5角材か12cm角材が良いと思います。一度きりしか使わないので現場などであまった木材か古材でも良いです。しかし、出来るだけ頑丈に作って下さい。



## ログ部材の保管について

ログ以外の部材の保管について、室内床材や天井材・見切り・額縁材等は雨に濡らさないように

管理してください。床材や天井材など1束ごとにビニールパッキングしてある製品に雨水が侵入しますと黒カビの原因になってしまいます。

また長期の保管も汚れの原因にもなりますので、なるべく早く施工するようにしましょう。

デッキ部材やその根太などの加圧注入したある部材は雨に濡らしても大丈夫と思います。

次に、窓やドアの建具ですが、これらは梱包パレットで養生されての入荷になると思います。

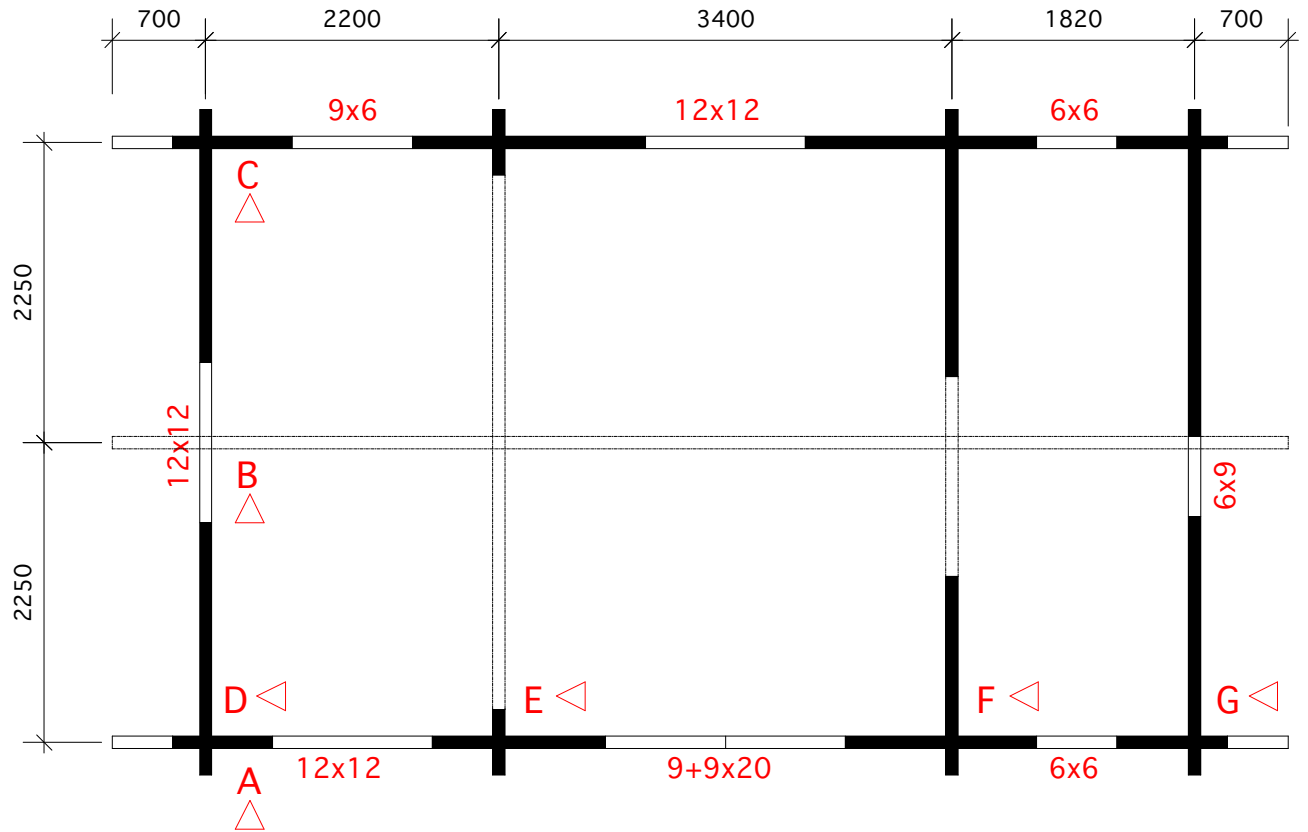
それら梱包パレットは複数枚の建具を大きいビニールで覆いかぶせてパッキングされている

と思います。梱包パレットですが長い期間の保管ですと、例えば夏の暑い時など、梱包パレット内も非常に暑くなり(温室状態)ますので早めに梱包パレットをばらし、中の木製建て具を建築内に入れて保管してください。長期の梱包パレット内での建て具保管は松ヤニなどが発生し、建て具を汚してしまう可能性もあります。



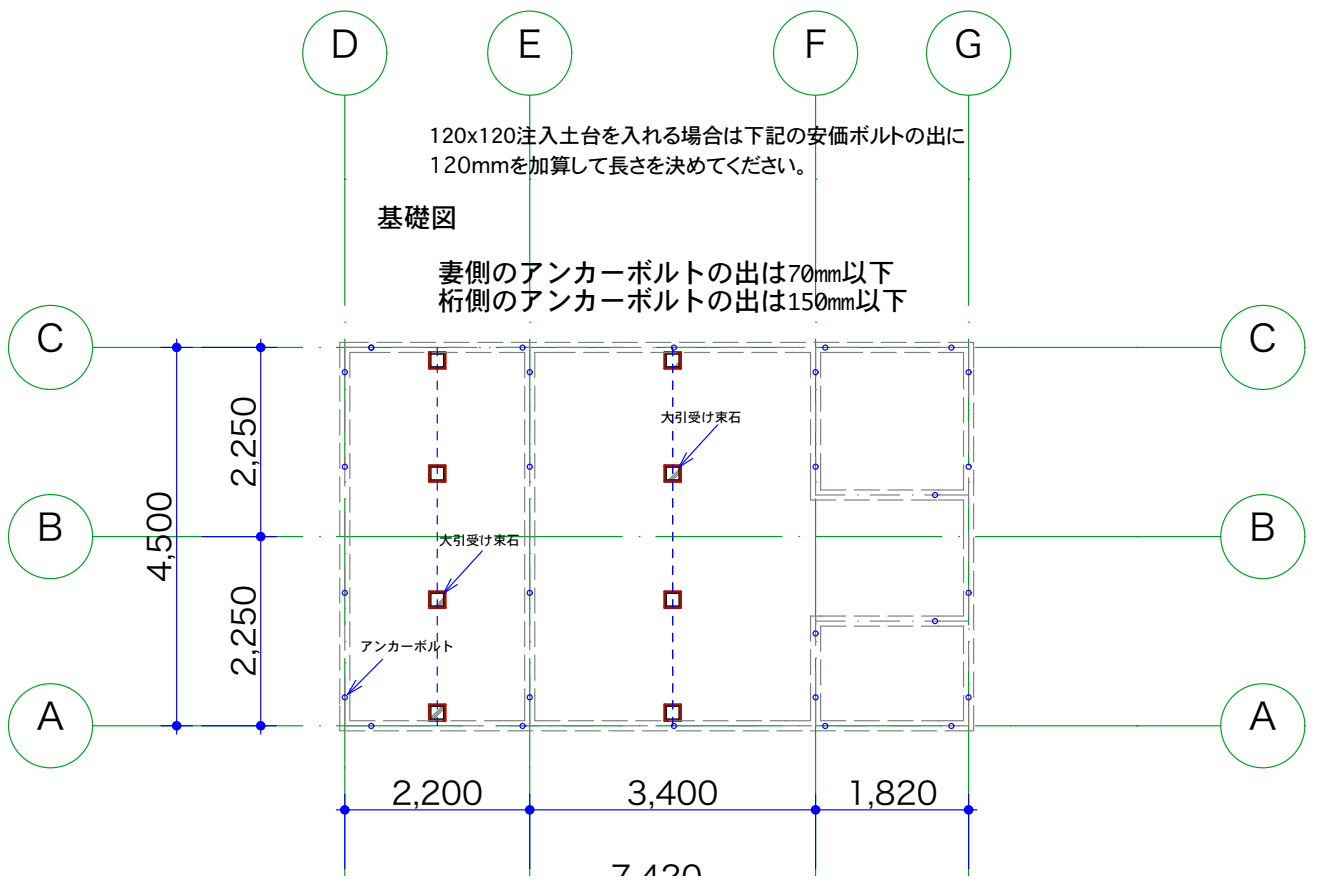
## ログと基礎の設置

ここでは92mmx160mmの無垢ログを例にして説明します。本書は主に木工事についての解説です。基礎や電気や給排水や設備工事などについては解説はありませんのでご理解下さい。それら工事は資格を必要とするものもあります。ご自身で出来ない場合は業者さんに依頼して下さい。下図が平面図です。



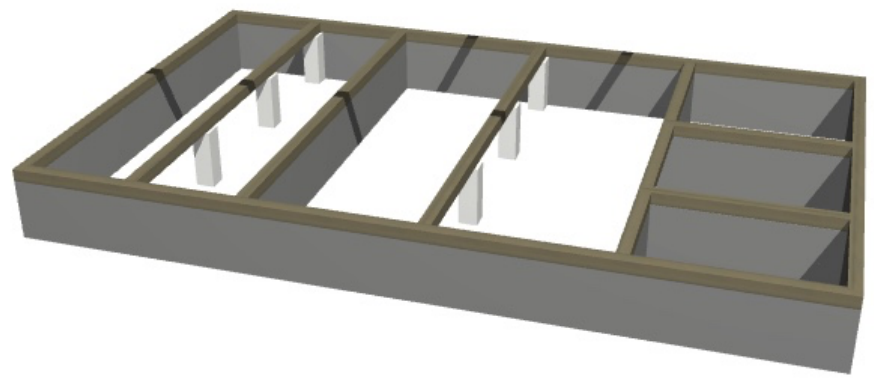
アルファベットで記載されているのがログの通りです。このログハウスの場合はA～Gまであります。このログハウスは妻側が半ログではじまりますのでA.E.F.GのNO1の半ログを探しましょう。そしてフルログのNO1も探しておきましょう。



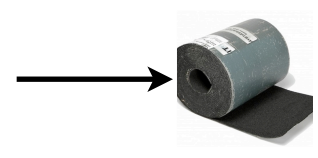


120x120注入土台と同一の大引は支給外ですのでご自身で調達してください。また設置はログの到着前に施工しておくとい良いでしょう。

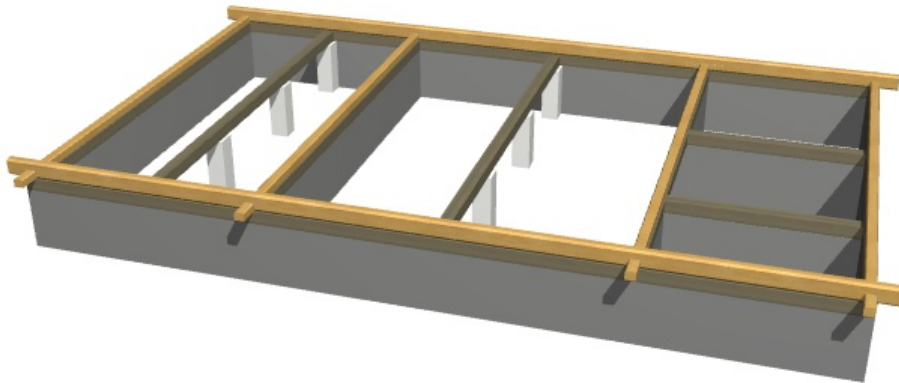
土台を廻す方と土台を使用なさらない方がいます。昨今では土台を廻す方が主流のようです。注入土台の120x120を使用してください。同様に同レベルで大引きも配置してください。



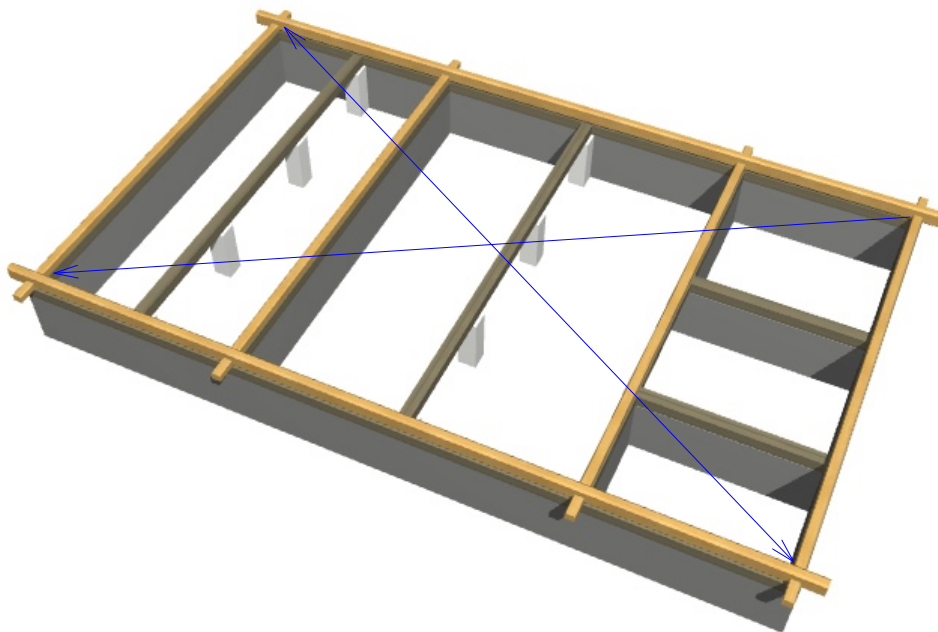
黒いアスファルトシートを基礎と土台の間に敷きます。



それでは1段目のログを設置して行きましょう



そして設置したファーストログの対角(矢印)を測定し問題がなければ全てのアンカーボルトを増締めして完全に基礎と締結します。

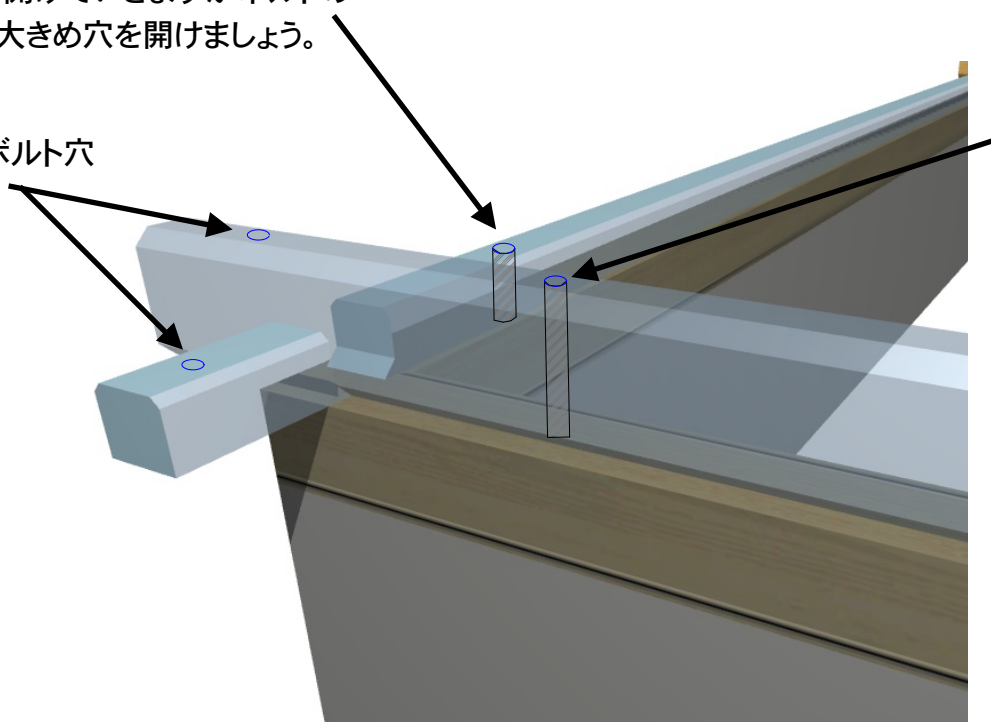




ハーフログのアンカーボルトの出はこの場合70mmです。

ハーフログにアンカー用の穴を開けていきますがボルトの径より大きめ穴を開けましょう。

通しボルト穴

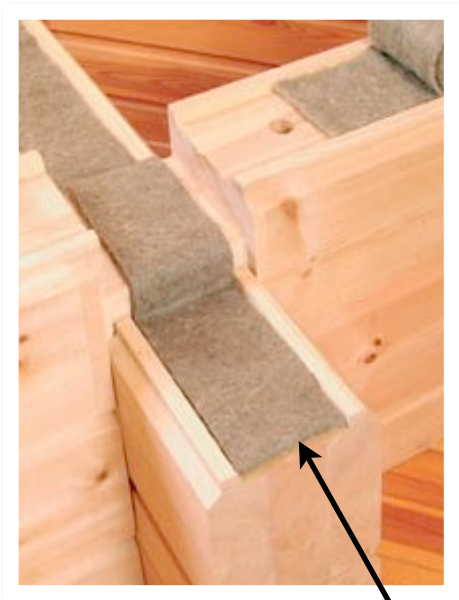


桁側のアンカーボルトの出は150mmです。

基礎のアンカーボルトは芯からずれている場合もあります。また垂直に設置されていない場合もあるでしょう。ログのアンカーボルト用の穴あけはログの裏から墨を出して行ってください。一般のユーザーは垂直に穴を開けるのが難しいと思いますので 上記内容から少し大きめの径の方が良いと思います。そして設置する前にナットと座がね用の座堀りをして下さい。座堀りカッターがない場合はノミで掘ります。ハーフログを設置したらまだ仮止め程度のゆるいナット締めにておいてください。



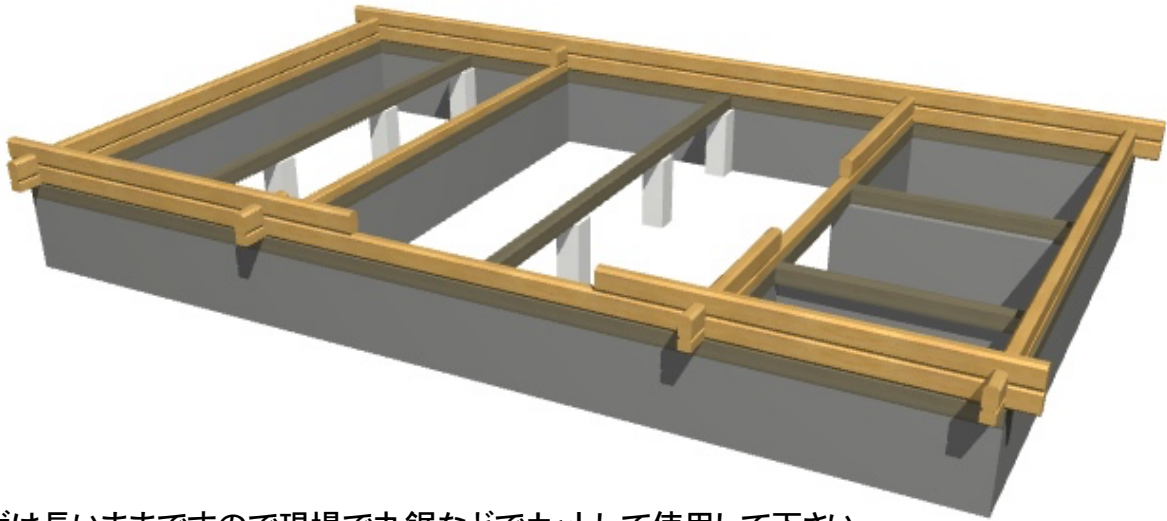
座堀り用ビット



ログとログの間にはウールのシーリング材をタッカーで止めながら1段毎に積んでいきます。

木口はウールがはみでないように敷きます。

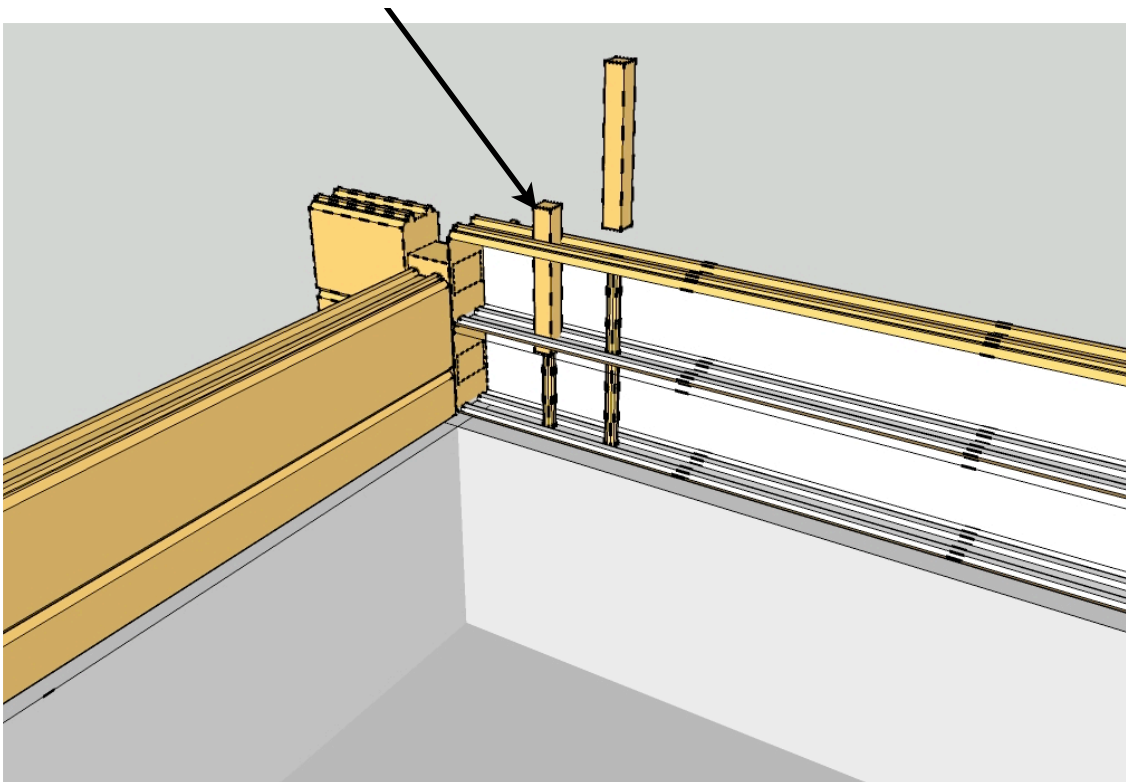
この時点で仮床を組んでおくと  
積み上げが楽で早く進みます。  
床組みに関しては床のページをご覧ください。



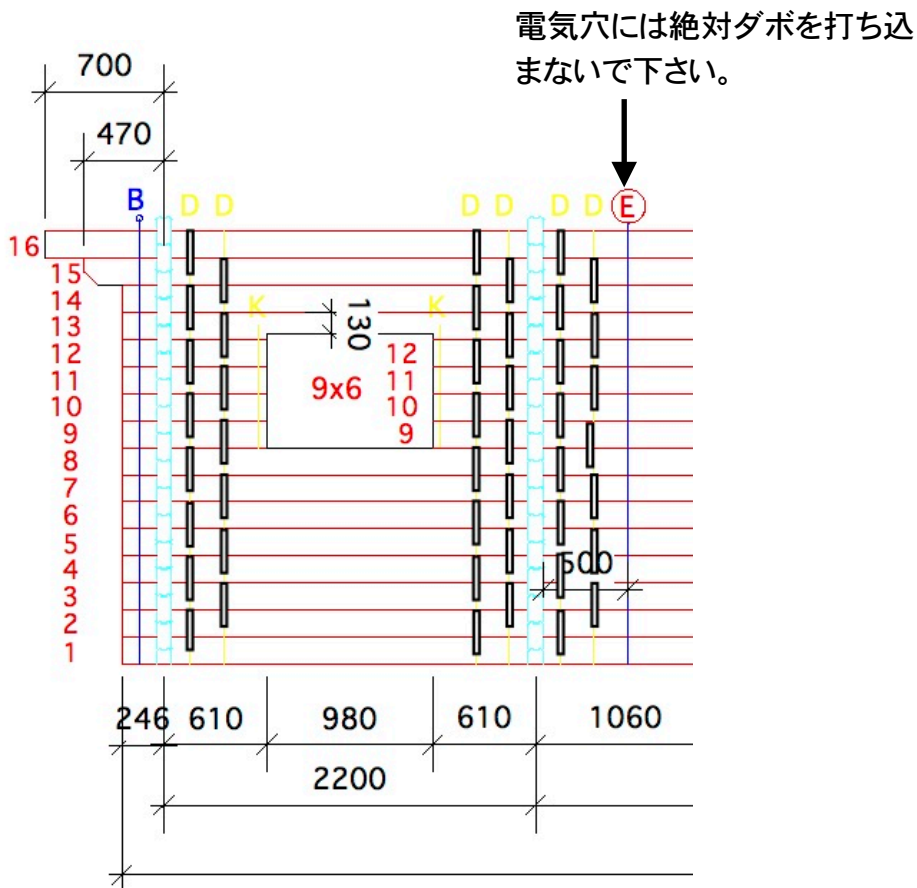
ダボは長いままですので現場で丸鋸などでカットして使用して下さい。  
長さはログの働き高さの**1本半以上**ぐらいの長さが良いでしょう。この  
92mmx160mmのログの場合は260mm~270mmぐらいです。

2段目まで積みましたら、これから先は  
ダボでログをとめていきます。  
だぼ穴は図のように対になっています。  
交互にダボを打ち込みます。

ログの上端まで打ち込みます。

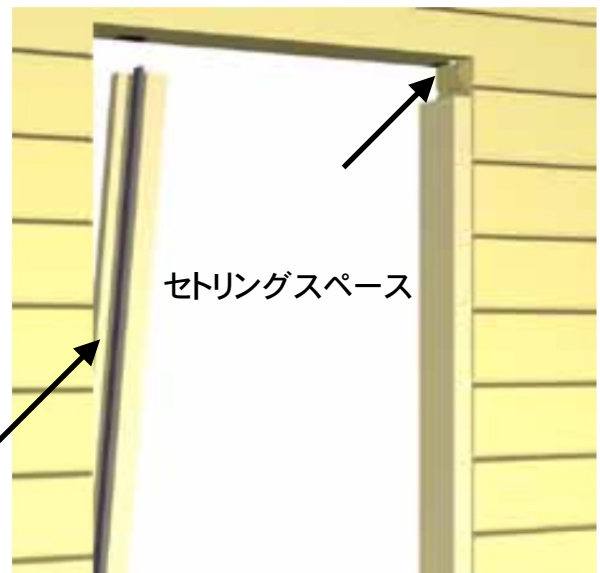


ダボは下図のように交互に入れます。(ちどり)  
 電気穴にはダボを入れないように  
 あらかじめ印をしておきましょう。



受注後に上図のような壁展開図がフィンランドより送られて来ます。この建物ですとA・B・C・D・E・F・Gのログ壁があり、おのこの壁図があります。それらにはアルファベットの記載があります。

Dはダボ位置を示します。Eは電気穴を示します。Bは通しボルト位置を示します。Kはキーウェイの溝を示します。キーウェイとは窓やドアの開口部にはめ込むT字形の木材です。



キーウェイ

ログはナンバー通りに打ち込みます。



掛けやは大と小の2種類  
あると便利です。

番号通りにログを積んで行きましょう。ログはセtringで沈みますが、ログの隙間等が気になる場合はチェーンブロックなどを使って布ベルトを桁側の突出部分などに掛けて使用し強制的にログを沈めるのも良いでしょう。

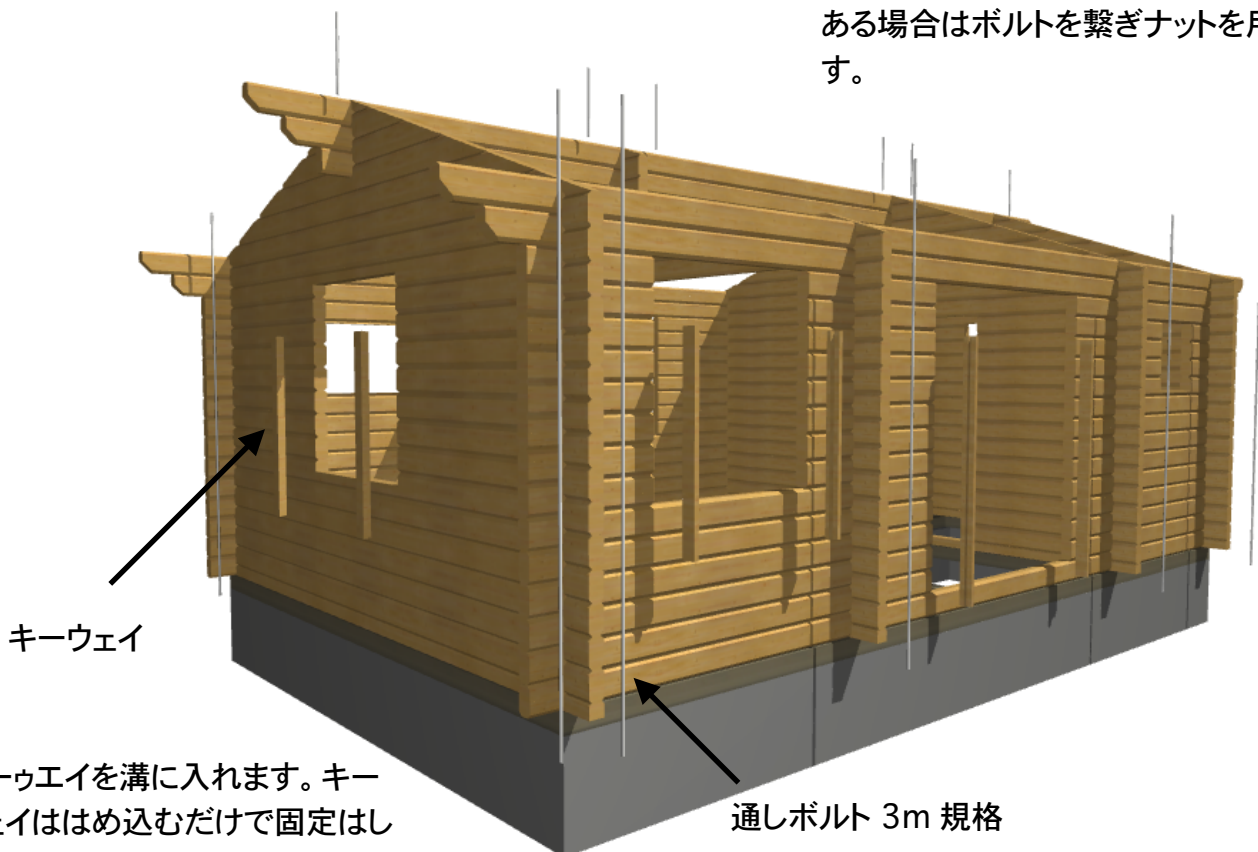
チェーンブロックです。



ログが全部積み終わりましたら、キーウェイを入れていきましょう。そして通しボルトも設置しましょう。棟木ログや母屋ログのボルトはディスクサンダーでカットして設置して下さい。

全ての窓やドアの建具が入る開口部にはキーウェイ(Tバー)を入れる為の溝が加工されています。

大きなログハウスの場合で桁高さが3m以上ある場合はボルトを繋ぎナットを用いて長くします。

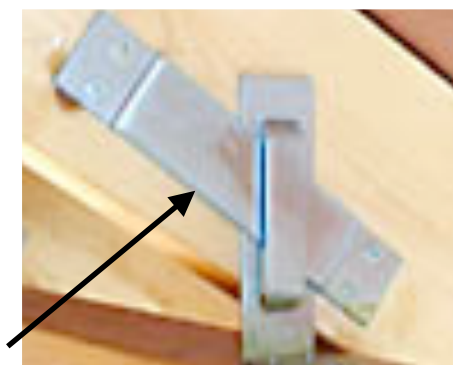
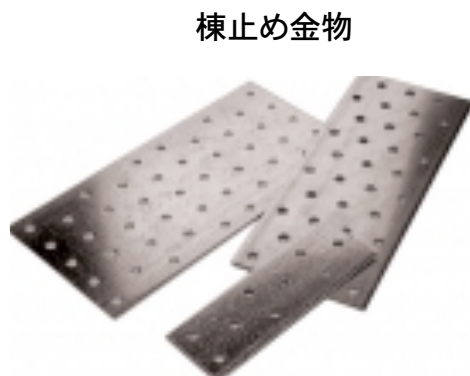
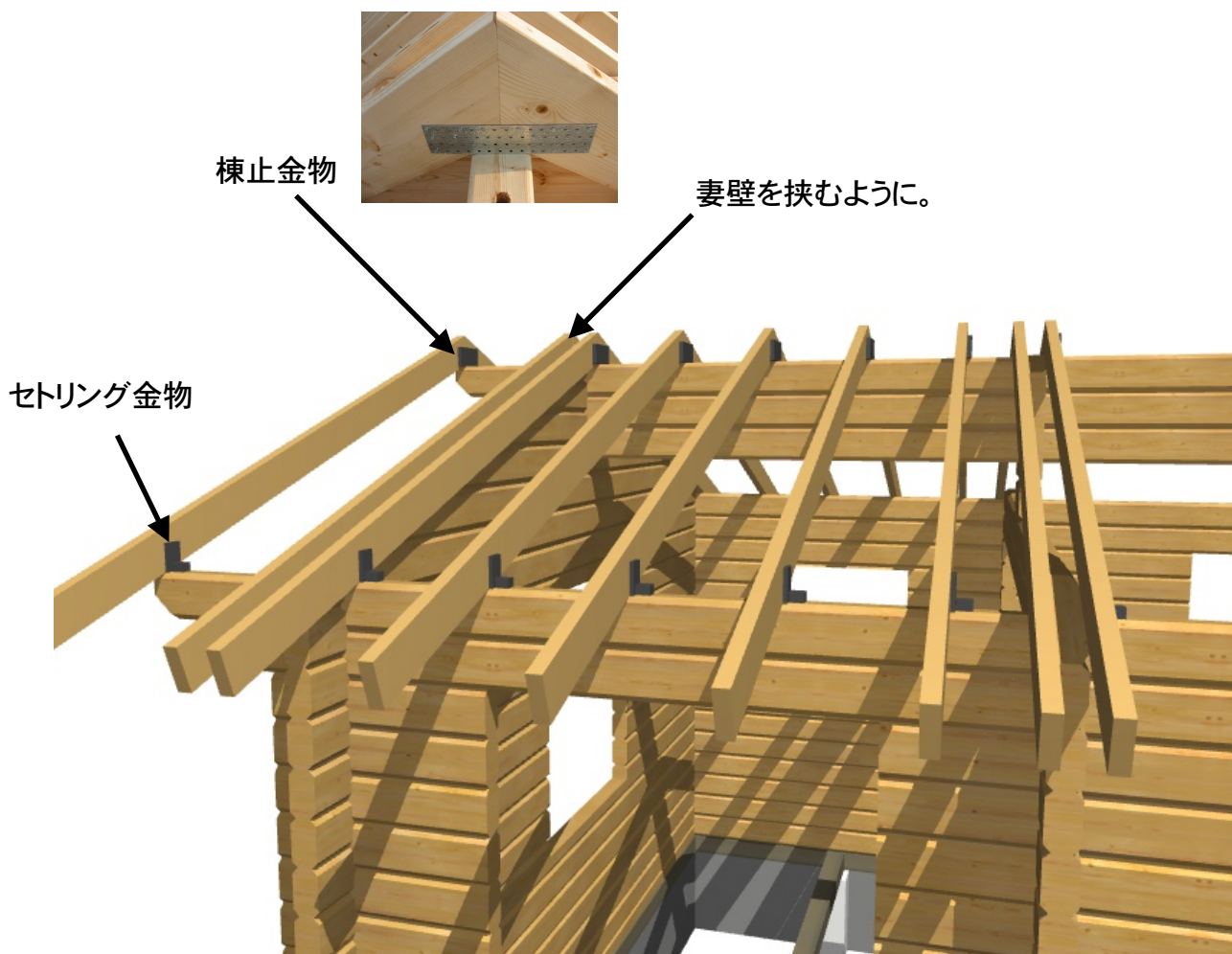


キーウェイ

通しボルト 3m 規格

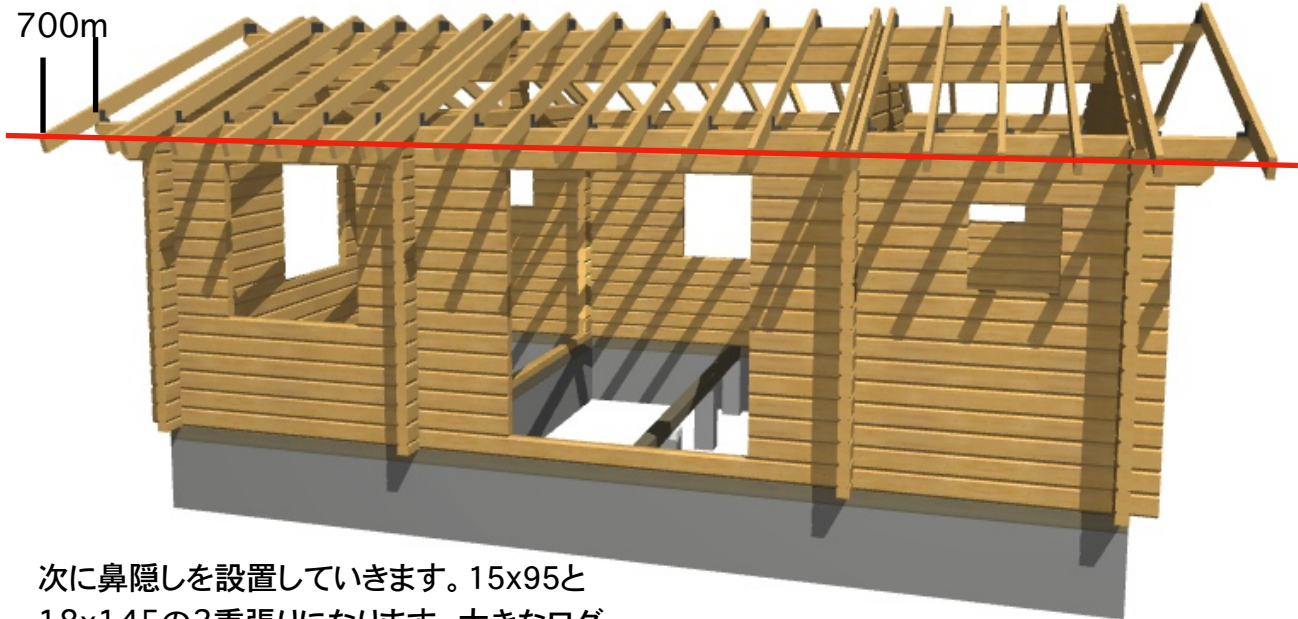
キーウェイを溝に入れます。キーウェイははめ込むだけで固定はしません。

垂木を設置していきます。垂木の間隔はお使いになる断熱材に合わせて割り振りして下さい。場所によっては等間隔にならない箇所もあります。その場合は断熱材をカットして設置して下さい。妻壁のある部分は垂木2枚ではさんで下さい。



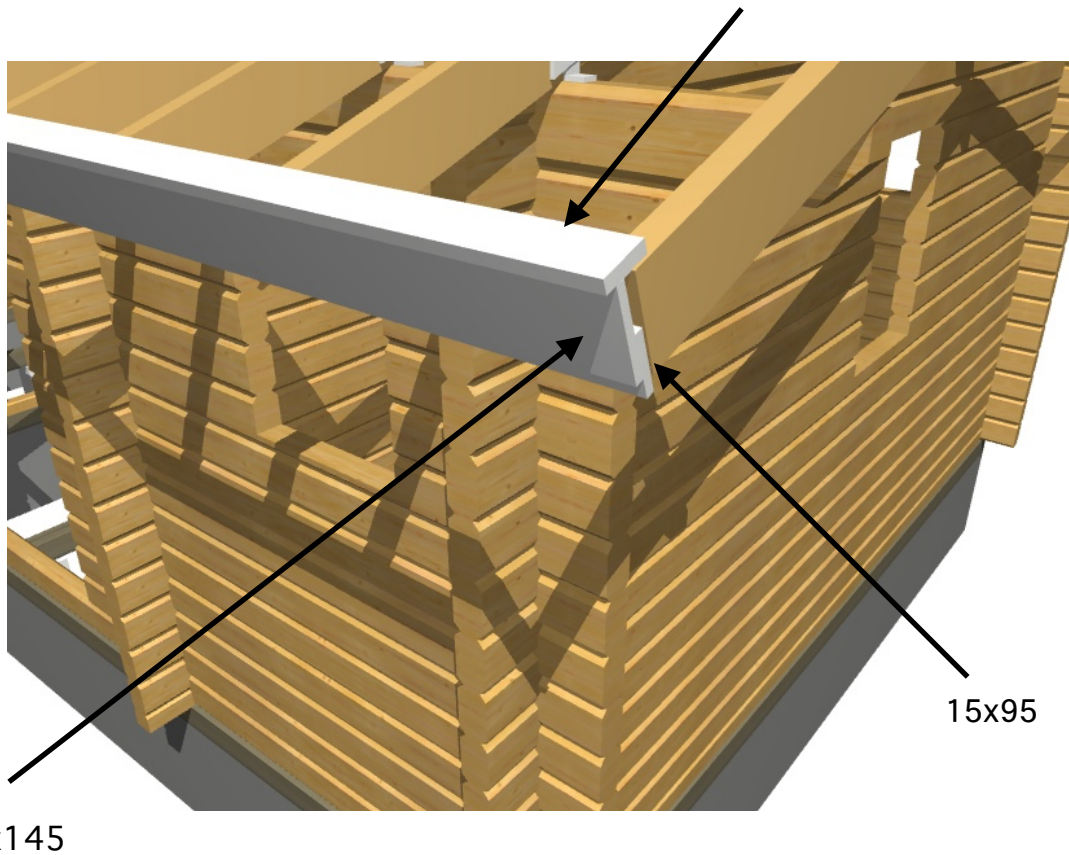
この部分の遊びがセtringスペースになります。

垂木と金物の設置が全て終わりましたら垂木の長さを揃えます。



次に鼻隠しを設置していきます。15x95と18x145の2重張りになります。大きなログハウスの場合はもう少し幅広の材料を供給します。

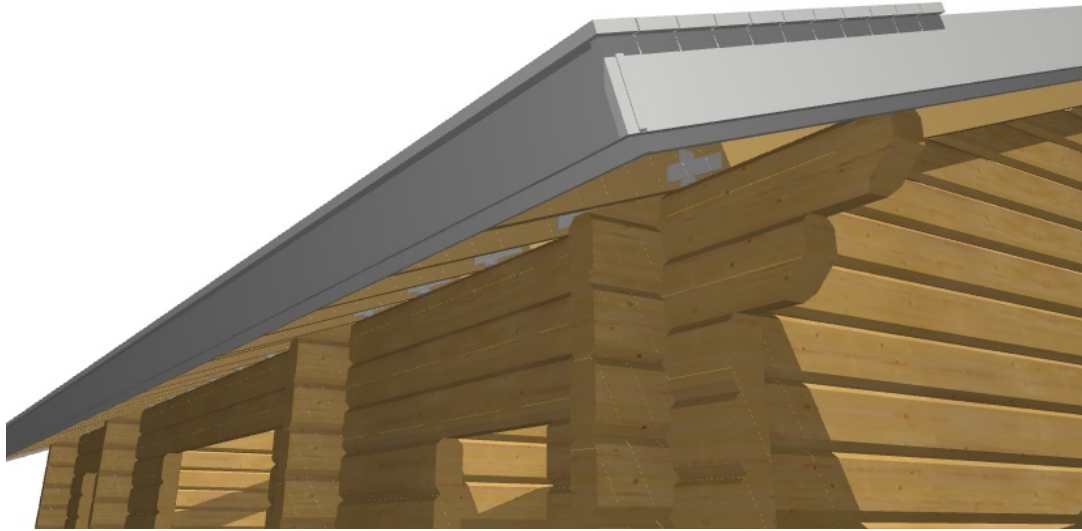
野地板 20x95 本ザネ加工



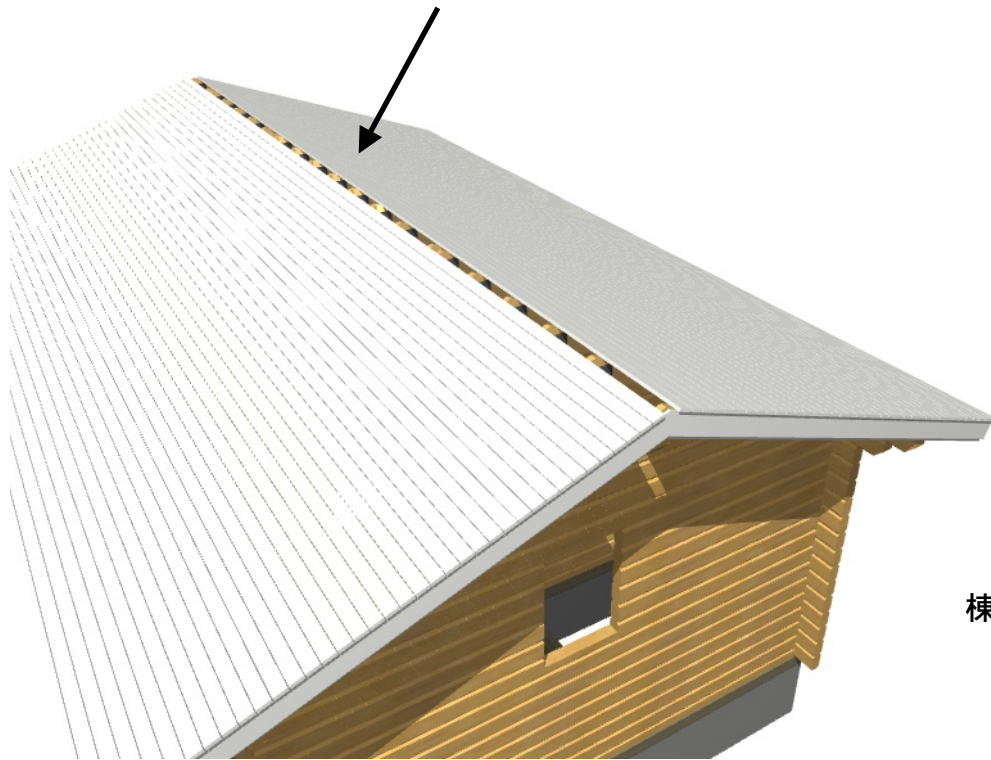
野地板は本ザネ加工されています。プレーナー仕上げの面を下にして貼っていきます。



次に鼻隠し板と同じように15x95を下に18x145を上に乗せて破風板を取り付けます。フィンランド式は野地板より少し高めに取りますが日本では下図のように野地板が上になります。



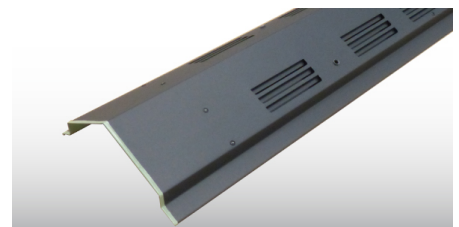
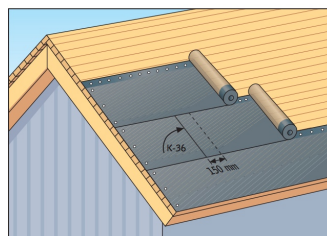
野地板を全て張り終える前に頂上に棟換気用の空間を確保しておきましょう。その後ルーフィングを設置してください。



棟換気用金物



ルーフィング

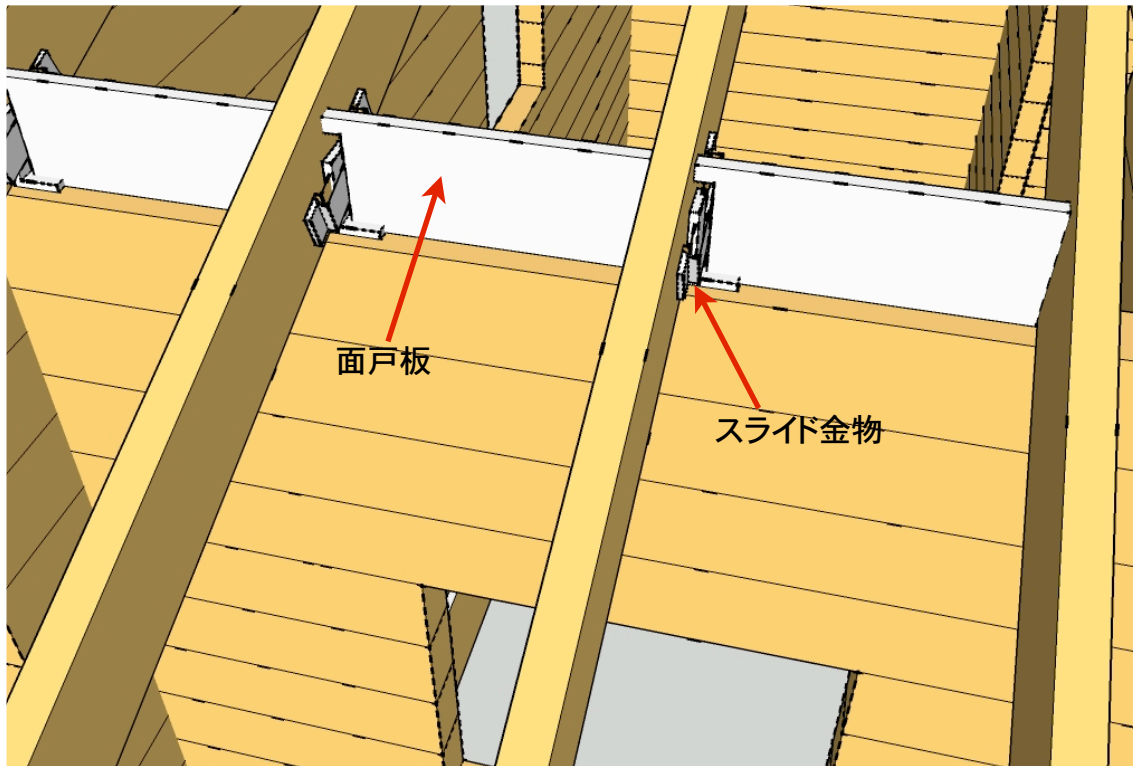




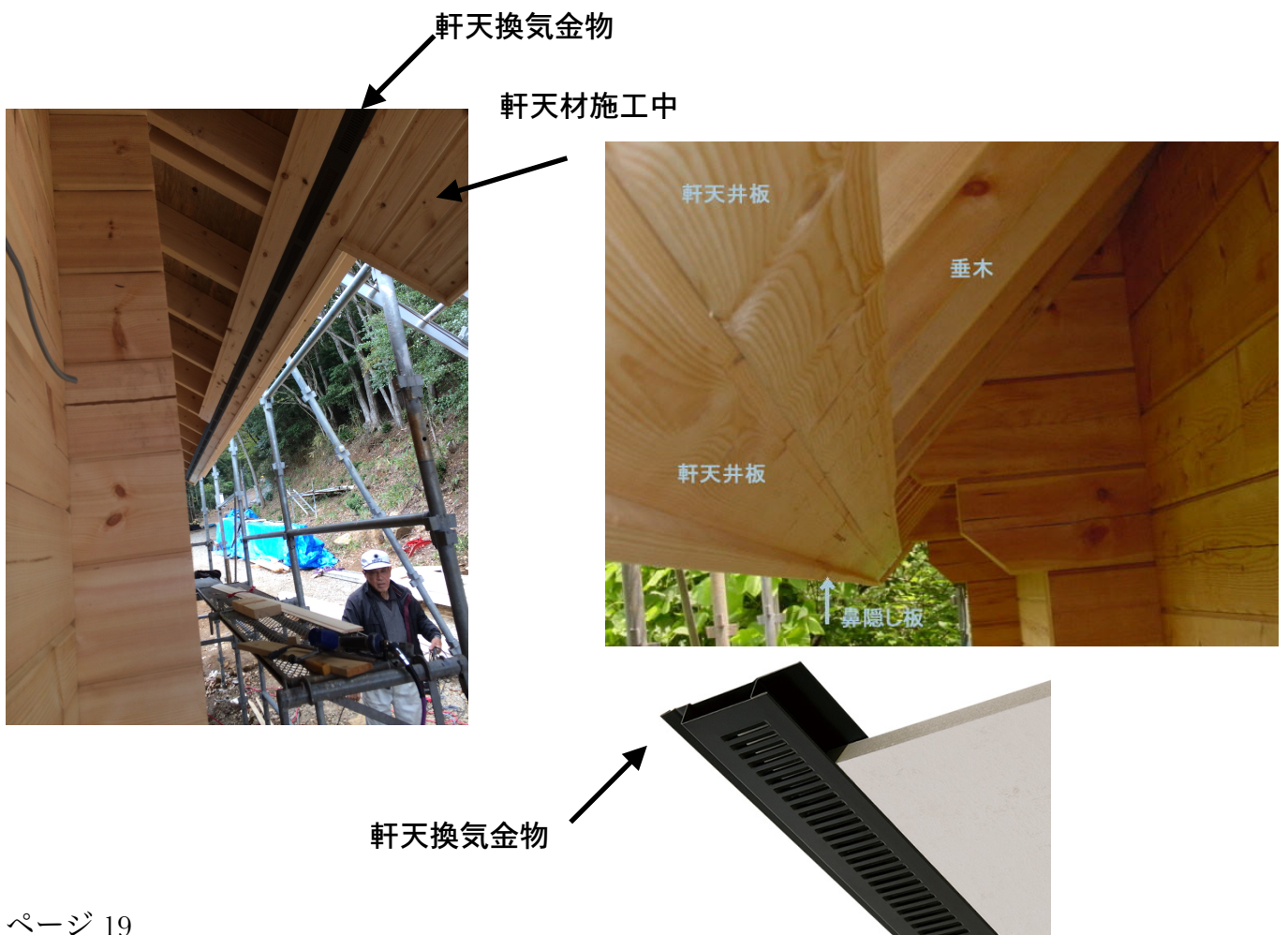
野地板を張り終わりましたら出来るだけ早くルーフィングを貼って下さい。野地板は雨にあたり膨張してしまいます。もちろんその後は屋根工事もすばやく行って下さい。



面戸板は下図のように取り付けます。log panel材を使用します。スライド金物の分だけ欠き込みを入れます。また上部分に余白を設け空気が入り棟で熱気を逃す工夫が必要です。



軒天材を張る場合は面戸板の設置は必要ありません。



野地板を張り終わりましたら出来るだけ早くルーフィングを貼って下さい。野地板は雨にあたると膨張してしまいます。もちろんその後の屋根工事もすばやく行って下さい。



木口に張ってあるナンバータグを全てきれいに取り去って下さい。

## 窓・ドアの取り付けに関して

キーウェイ

窓やドアの開口にはキーウェイを入れる為にあらかじめ溝加工してあります。

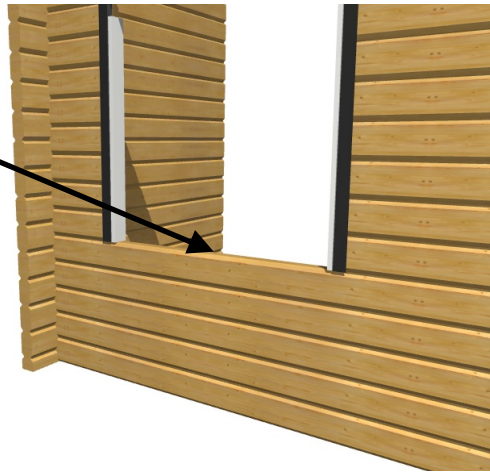


キーウェイを入れる前に開口部木口の溝の外側部分に2x4テープを折り曲げて貼ってください。この事によって横から走ってくる雨水の窓への侵入を防ぎます。2x4テープは支給外です。



キーウェイを入れていきます。  
す。

ログの下端にウールを敷きましょう



大きな窓や大きなドアでなければ窓やドアは  
枠から外さずそのままの状態を設置したほうが  
良いと思います。



若干のクリアランスがありますので  
木片クサビなどで固定してくださ

左右の枠をビスで固定する際にあまり強く締めますと枠が歪む可能性がありますので注意して取り付けてください。

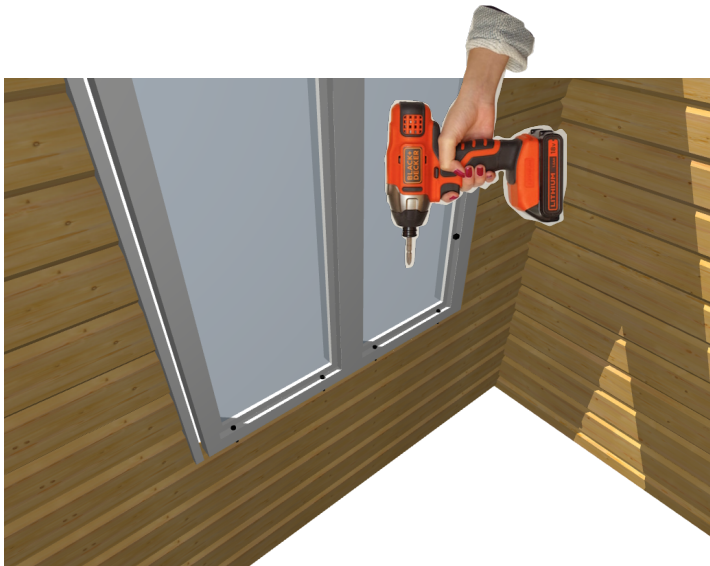


窓枠の外周に2x4テープを貼ります。額縁寸法は120x28ですので、2x4テープは120mm以下にしてください。



**注意；**

額縁はの取り付けはログにでなく  
枠材やキーウェイにビス止め  
して下さい。セtringに考慮する  
為です。経年後にセtringが  
収まればログにビス止めしても  
かまいません。



まず下枠と横枠にコースレット用の穴(9mm)を深さ10mmぐらいをドリルで座掘ります。キーウェイに枠をビス70mm~90mmで止めて行きます。この時**左右の枠をあまり強く締め付けしないで下さい。枠が歪みます。**上枠はまったく固定しません。(セtringの為)

コースレットはキットには含まれていませんのでご自身でご用意下さい。

コースレット止めしたあとに9mm木栓でビスの頭を隠すために木栓を入れますがボンドなどで固定しないで下さい。(建具調整時にこの木栓を外すためです。)

最近ではコースレットビスの頭を隠すキャップなどがあるのでそちらを使えばコースレット用の座掘りは必要ないでしょう。

**注意: 2x4テープ / 9mm木栓 / 70~90mmコースレットは支給外です。**

ドアも窓も全てこの方法で取り付けしていきます。

スイッチやコンセントの穴を開けて下さい。外部まで穴を貫通して開けてしまわないよう気をつけて下さい。また電線も通しておきましょう。

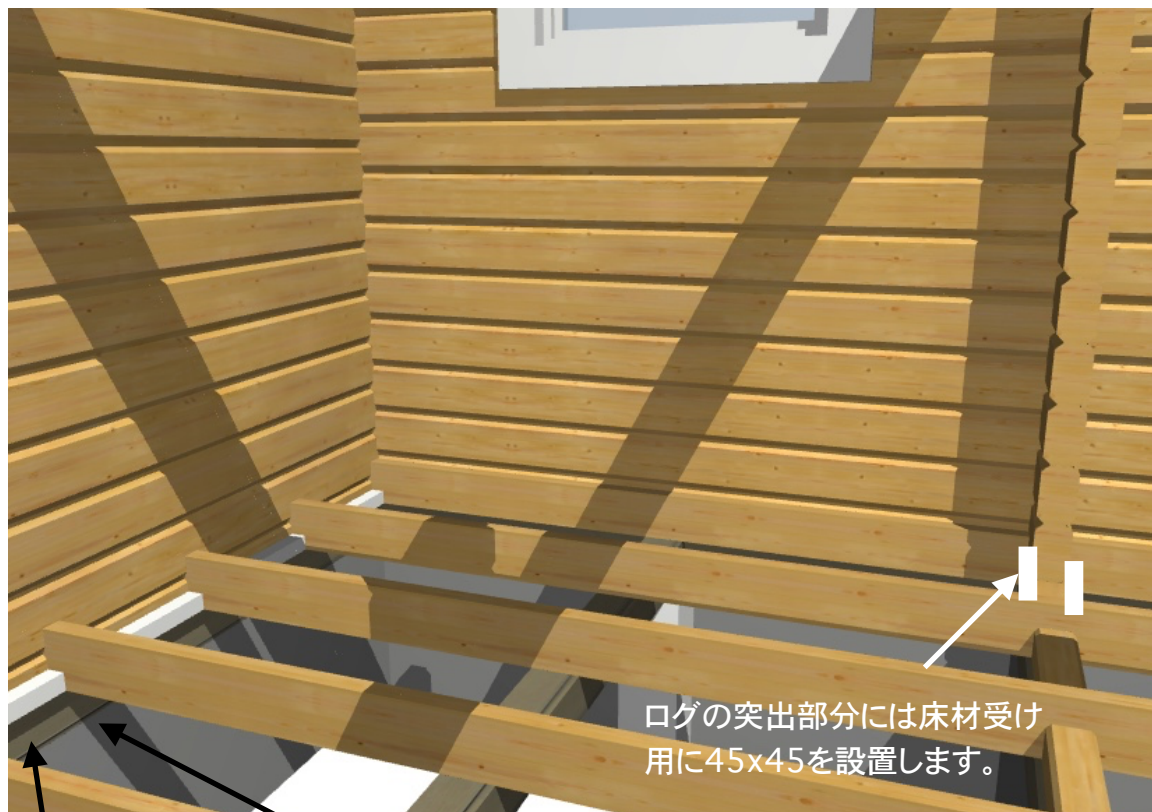


全ての窓・ドアの取付が終わりましたら1回目の塗装をお勧めします。ログのパイン材は放置日数が長いと日焼けします。日焼けにより薄黒くボヤけてしまい生地仕上げの塗料の場合、発色があまり良くありません。塗装にあたっては他の部分に塗料がかからないよう十分に養生してください。そして丁寧に仕上げてください。





次は床組に取りかかります。

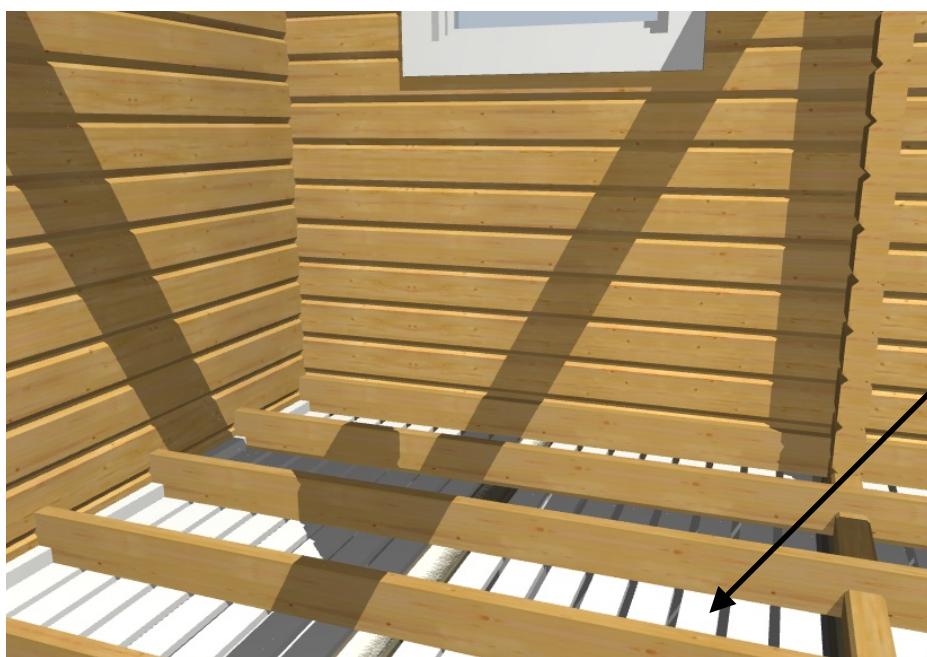


根太掛け45x45を設置します。土台の上端に合わせて下さい。

図のように根太の下端に根太掛けの欠き込みを入れて根太を設置していきます。

根太間隔はご使用になる断熱材に合わせて下さい。

設置にはコースレットなどで固定して下さい。(ナナメ)

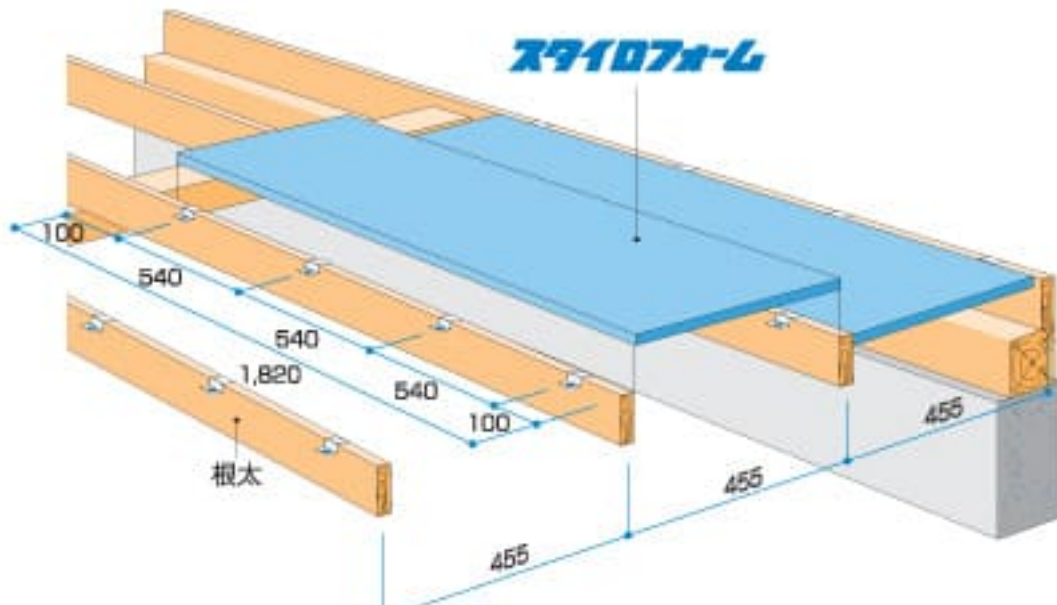


次に断熱材受け材を仕掛けていきます。  
22x100

スタイロフォームなどの断熱材を利用する場合はこの木材でなく断熱材受け金物を使用します。

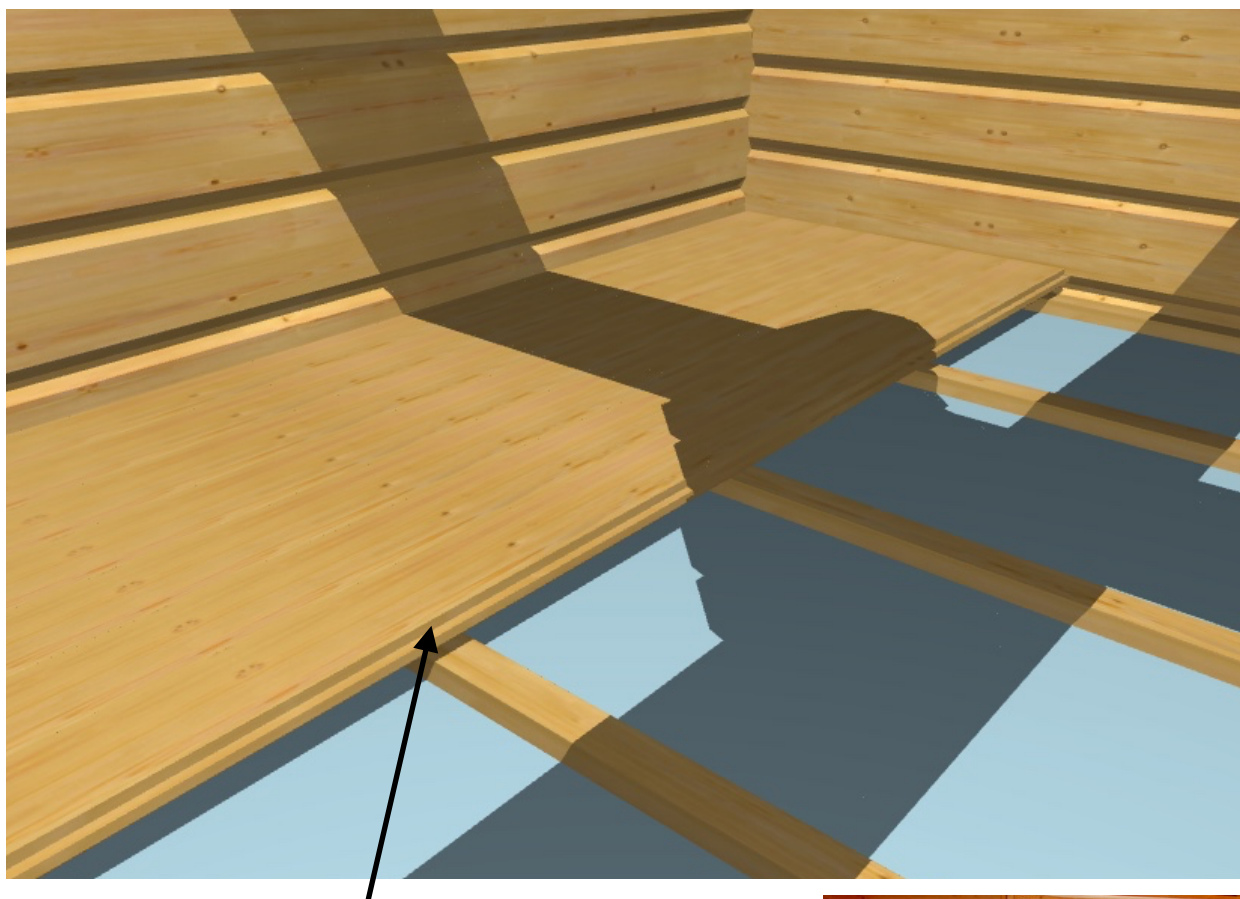
ス9107x-L

断熱材および断熱材受け金物は支給外です。



2階の根太は図のような根太受け金物で根太を取り付けます。  
これらは標準支給品です。

床板を張ります。



床板28x95はホンザネ加工してあります。  
オスの部分から根太にナナメクギまたはコース  
レットで固定して下さい。  
床板が入りづらい時は当て木などを使ってはめ  
込んでください。水道やガスなどの配管がある  
場合はその箇所に来ましたら配管用の穴を開け  
ておきましょう。



必要な場合は防湿シートを敷き詰めてください。



当て木

床下点検口を設けてください。

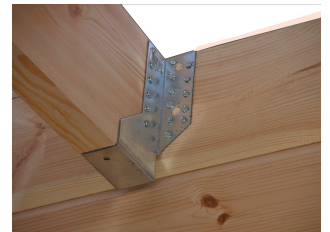


床材受けに45x45を設置してください。

点検口のふたです。取っ手をつけます。



2階の根太は根太かけ金物を使用します。床張り方は1階と同様です。



床板を全て張り終わりましたら、床板を養生して今度は天井板の取り付けにかかります。  
まず写真のように断熱材を設置していきます。あらかじめ電気の配線をしておきます。

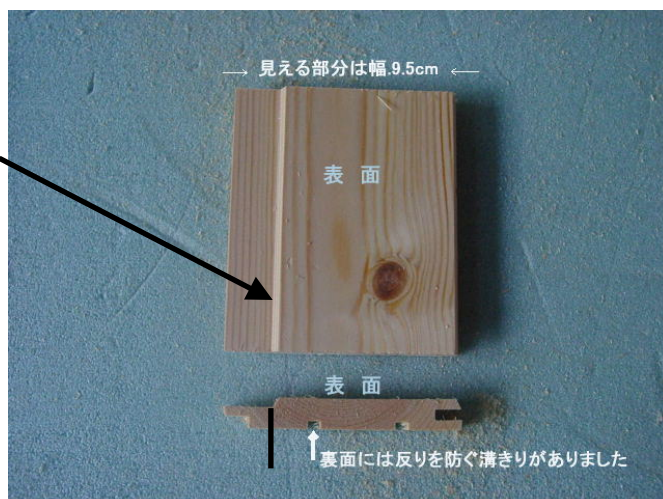


天井板13x95を桁側下から張っていきます。フィニッシャーネイルを使うときれいに仕上がります。



フィニッシャー釘は針の形状ですので、抜ける要素もありますので垂木下端に木工用ボンド(支給外)を塗りながらフィニッシャー釘をエアーガンで打ち付けていく事をお勧めします。

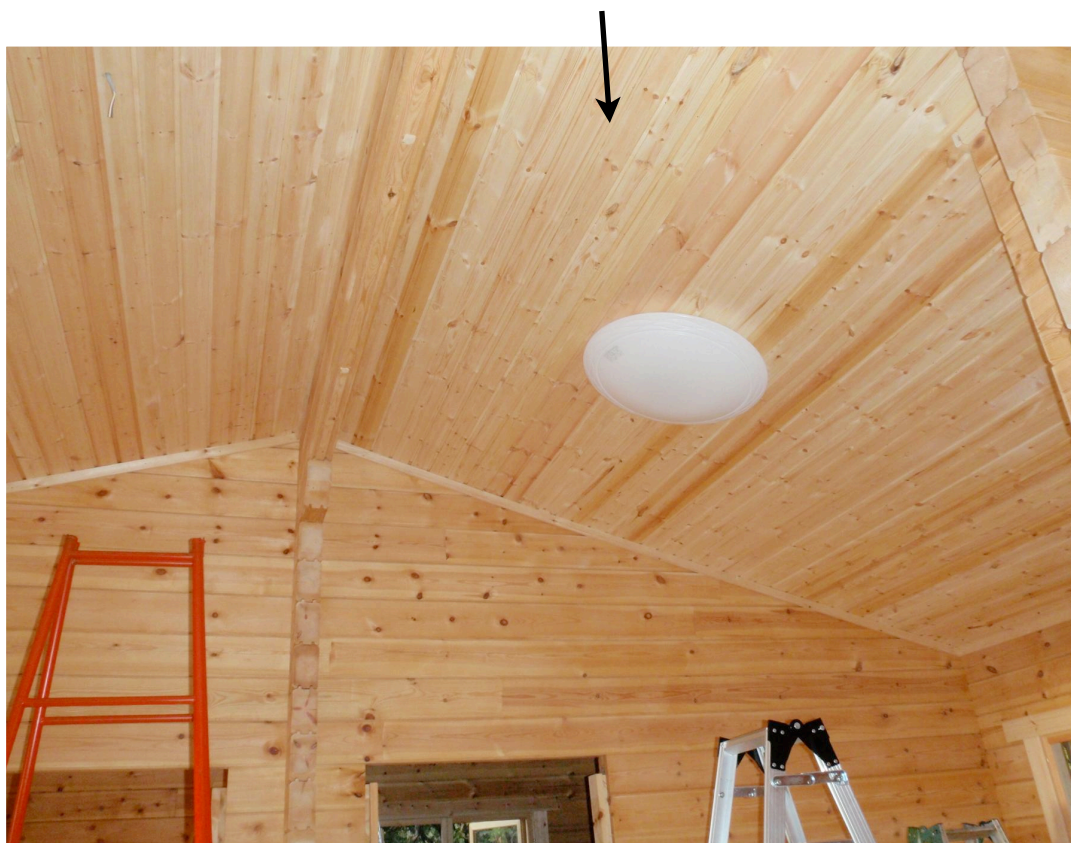
この辺りに打ちます。



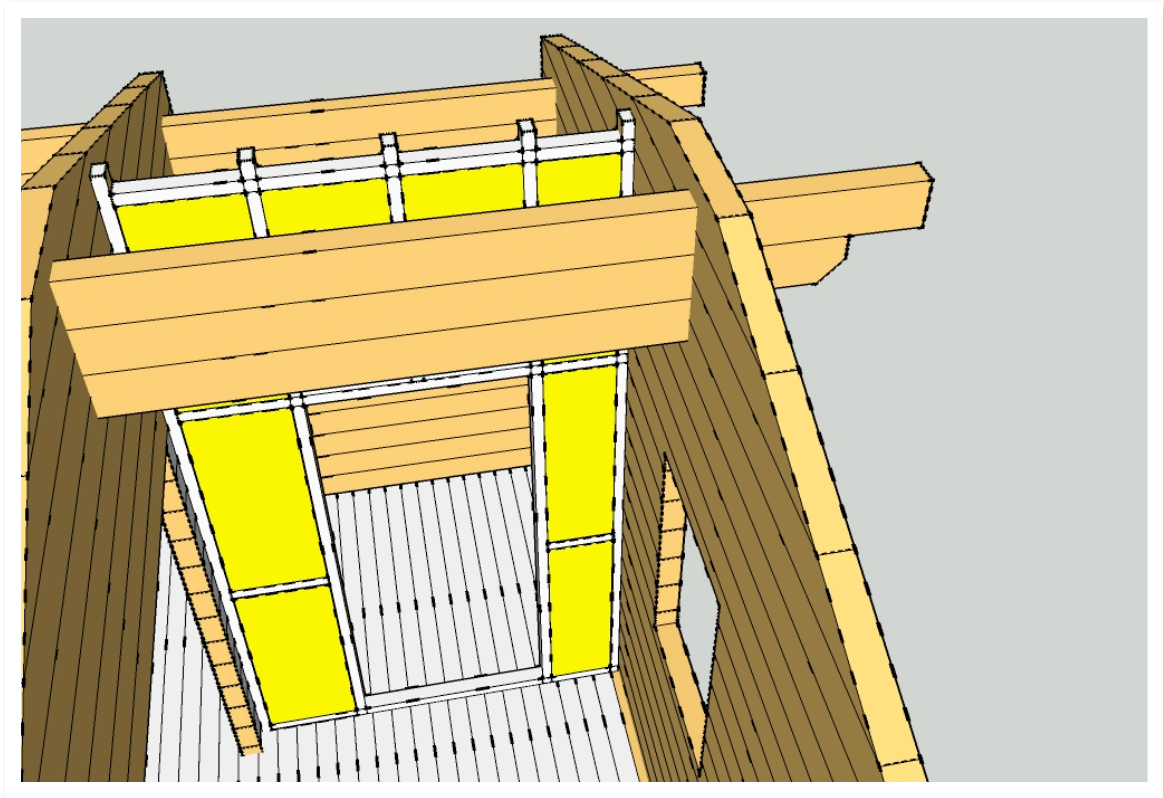
天井板13x95を張り終わったら天井見切りを取り付けていきます。



完成です。

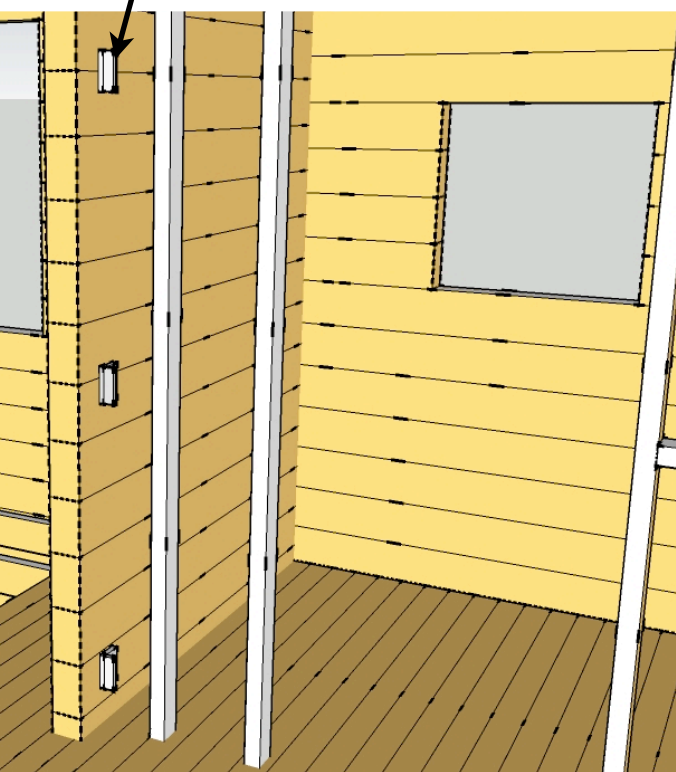


ログ以外で間仕切り壁を作る方法です。



間柱45x70または45x95を設置します。間柱のサイズはプランによって異なります。ログ壁に取り付ける時にはスライド金物を使用します。間柱上部には他のスライド金物を使用します。断熱材を入れて

間柱用スライド金物 天井用



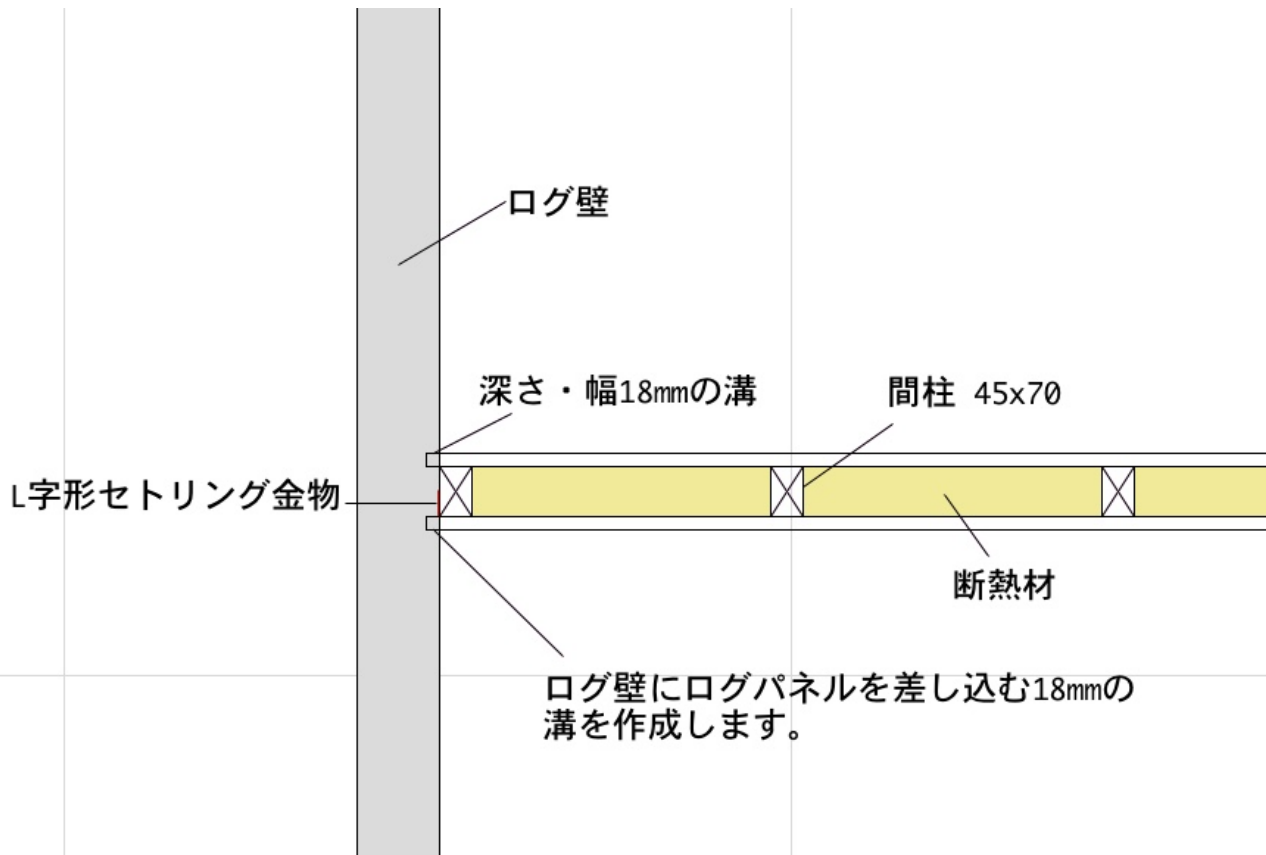
ログパネル下見板  
です。





間柱用L形スライド金物 壁用

ログにログパネルを挿し込む為に溝を作ります。丸ノコとノミで作成しますが、一般の方には少し難しいかもしれません。



収まり詳細は特に決まりはありませんのでセtringに留意した方法（現場あわせ）で行ってください。



ログパネル



間柱の設置ですが、セトリング金物を使用せずに間柱の中央に図のように丸ノコで7～8cmぐらいの切れ目をいれてビス・ワッシャで固定する方法もあります。これらもセトリングに考慮していますのでOKで

内階段は塗装済みのラップポラス社製です。全てがプレカットされており現場で組み立てます。梱包中に説明書が添付されています。詳しくはラップポラス社のサイトをご覧ください。<http://www.lappiporras.fi/>



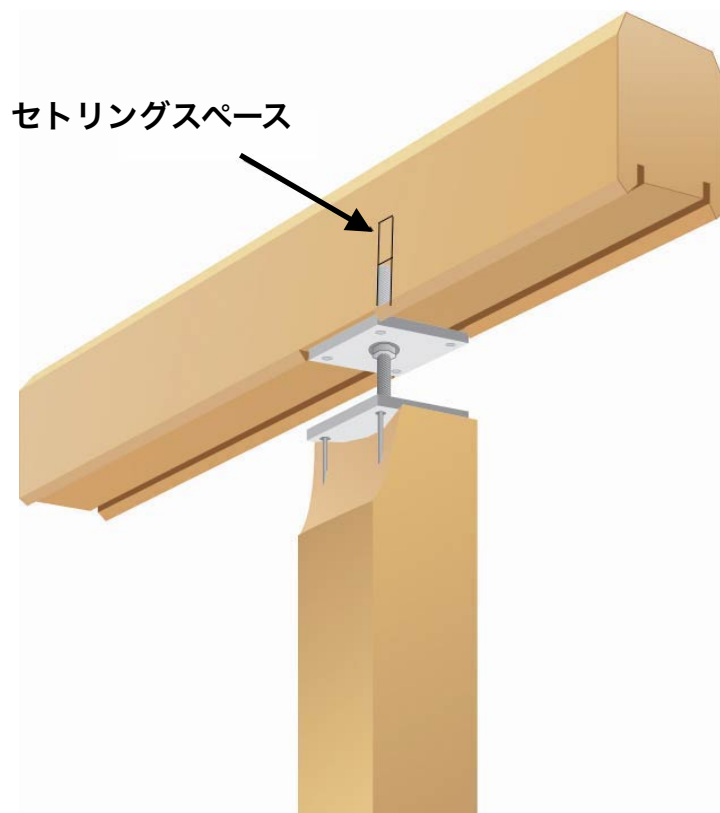


ベランダやバルコニーの作成方法は室内の床とほぼ同じです。部材は注入材のデッキ材28x90を少し隙間(5~6mm程度)を開けて張っていきます。



外階段はベランダ部材で作成していきます。作成方法に決まりはありません。

ベランダ等で柱の設置がある場合はセtring  
ジャッキ金具を使用して設置します。  
その際にはセtringスペースを確保してください。



柱に穴をドリルで掘る時は  
ドリルの反動に  
気をつけて穴を開けて下さ  
い。



- ジャッキは柱の上でも下でもよ  
ろしいかと思いますが後で高さ  
を調節することを考えますと  
下の方が便利かと思います。

# Painting

塗装は地域にもよりますが最低2回はして下さい。なるべく日焼けする前に。また最初の年から数年間は毎年行いましょう。塗料もよく吟味して良い塗料を選択



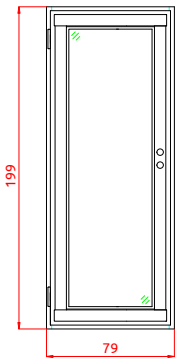
塗料は他の所に落とさないようしっかり養生シートをしてから行いましょう。



ドアに関して。 ドアには鍵と取っ手は取り付けしていません。  
現場での取り付けになります。図解入りの説明書に従い取り付けさせていただきます。

Merkki: JAPANI, K

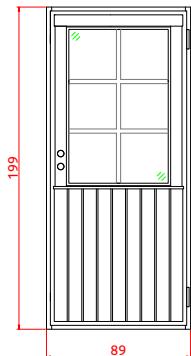
Toim.VK: -



Tuote: LUO kokolasi 1  
Koko: 8 X 20  
Karmi: 92mm  
Pintakäsittely: SK (VÄRITÖN)  
Kpl / käsitys: 2 / 1\*VAS, 1\*OIK

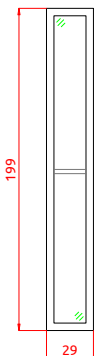
Lasi: 3K 4-8, Karkaistu  
Lukkorunko: 4190

### 玄関ドア用



Tuote: LUO 12 2  
Koko: 9 X 20  
Karmi: 92mm  
Pintakäsittely: SK (VÄRITÖN)  
Kpl / käsitys: 2 / 2\*OIK

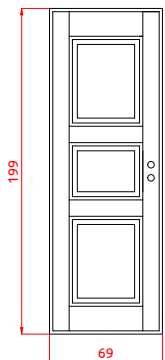
Lasi: 3K4-8  
Lukkorunko: 4190



Tuote: MEK 3 3  
Koko: 3 X 20  
Karmi: 92mm  
Pintakäsittely: SK (VÄRITÖN)  
Kpl / käsitys: 2 / -

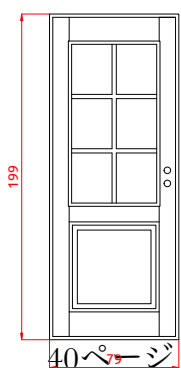
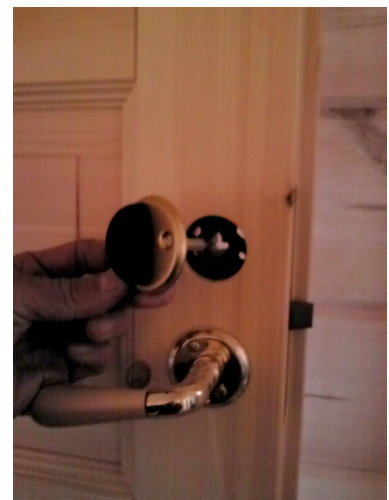
Lasi: 2K4-8  
Lasitettuna  
Lukkorunko: 4190

### 室内ドア用



Tuote: OPO 4  
Koko: 7 X 20  
Karmi: 92mm  
Pintakäsittely: Lakattu, PV  
Kpl / käsitys: 4 / 2\*VAS, 2\*OIK

Lukkorunko: 2014



Tuote: OPO 12 5  
Koko: 7 X 20  
Karmi: 92mm  
Pintakäsittely: SK (VÄRITÖN)  
Kpl / käsitys: 2 / 1\*VAS, 1\*OIK

Lasi: 4mm, Karkaistu  
Lukkorunko: 2014



# Painting

ログハウスはカラーリングでイメージが変わってきます。経年経過後は色をつけるのも良いかもしれません。



最後までお読みいただき誠にありがとうございました。  
皆様のログハウスの完成が素晴らしいものになるようお祈り申し上げます。また  
工事中のお怪我などには十分に気をつけて工事していただきたいと思います。  
ログハウスは部分詳細図などはあまりありませんので現場で対応する  
場面が多々あるかもしれません。その際には創意工夫なさせていただく  
場合もあるかと思われます。以上よろしくお祈り申し上げます。

本書の無断複写・複製・転載は固くお断りいたします。クルタラーデン社



Lisätietoja tuotteistamme löydätte sivuilta [www.abloy.fi](http://www.abloy.fi)



Avain ja avainpesä

Ohessa CY001 sylinterin pakkauksessa olevat osat. CY002 sylinterissä vääntönupin korvaa tupla-avainpesä, tällöin lukko avataan avaimella sekä sisä- että ulkopuolelta.

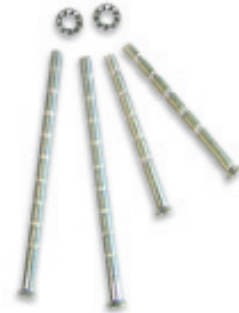
HUOM! Osa jatkolevyistä ja kiinnitystarvikkeista jää ylimääräiseksi asennuksessa.



Vääntöraudat, vääntöraudan tukipala ja ohjain



Jatkolevyt



M5 kiinnitysruuvit



1,5 mm jatkolevy



Liitinkappaleen levy



Poraussuoja



Avainpesän suojarahens ja vääntönuppi

# CY001 -AVAINPESÄN ASENTAMINEN



## VÄÄNTÖRAUDAN KIINNITTÄMINEN AVAINPESÄÄN

- IP-pakkauksessa neljä erilaista vääntörautaa, joista lyhyet vääntöraudat ovat tarkoitettu vain 4260-lukkorungolle.
- Vääntörauta kiinnitetään avainpesään painamalla se avainpesän päähän. Oikein asennettuna rauta lukittuu avainpesään.



## AVAINPESÄN PITUUDEN JATKAMINEN

- Avainpesän pituutta voidaan joutua jatkamaan oven vahvuuden kasvaessa. Pituutta jatketaan paksuuden mukaan pakkauksesta löytyvillä jatkolevyillä ja katkaistavalla vääntöraudalla. Jatkolevyjen tarve määritellään mittaamalla lukkorungon etäisyys oven ulkopinnasta. Tarkemmat ohjeet jatkolevyjen määrästä löytyvät asennusohjeista.
- Esimerkki: Kuvan avainpesään on asennettu neljä jatkolevyä.

1. Avainpesään kiinnitettävä vääntörauta katkaistaan numeron neljä kohdalta.
2. Muovinen ohjain pujotetaan vääntörautaan.
3. Neljä jatkolevyä asennetaan avainpesän jatkoksi.
4. Vääntörauta painetaan avainpesän päähän. Rauta lukittuu paikoilleen pesään.
5. Tarkistetaan avaimella, että avainpesä toimii. Tarkemmat ohjeet löytyvät asennusohjeesta.



Kuva 1.



Kuva 2.



Kuva 3.



Kuva 4.



Kuva 5.



## ASENNUS

### Kuva 1.

Asenna vääntöraudan tukipala lukkorunkoon.

### Kuva 2. ja 3.

IP-pakkauksessa olevat lyhyemmät M5- ruuvit pujotetaan hammasaluslevyjen läpi. Ruuvit katkaistaan sopivaan mittaan ja työnnetään liitinkappaleen levyn läpi. Ennenkuin vääntöraudan voi pujottaa liitinkappaleen levyn läpi, se pitää katkaista. Tarkemmat ohjeet vääntöraudan katkaisemisesta ja asentamisesta lukkorunkoon löytyvät asennusohjeista. Liitinkappaleen levyssä olevat ruuvit työnnetään lukkorungon läpi. Ruuvit ruuvataan oven toiselle puolelle asennettavaan avainpesään kiinni.

### Kuva 4.

IP-pakkauksessa olevat pidemmät M5- ruuvit katkaistaan sopivaan mittaan ja työnnetään vääntönupin kiinnitysreikien läpi. Ruuvit työnnetään lukkorungon läpi ja samalla asetetaan edellisessä työvaiheessa katkaistu vääntörauta nupissa olevaan reikään.

### Kuva 5.

Avainpesän suojarankaan sisälle asetetaan porausuoja. Suojarengas asetetaan avainpesän päälle. Vääntönupin ruuvit ruuvataan suojarankaaseen kiinni.

## VÄÄNTÖRAUTA

Vääntöraudan pää asetetaan lukkorungolle -rungosta riippuen seuraavasti:

LC-100  4190  
LC204

A

A = LC-100



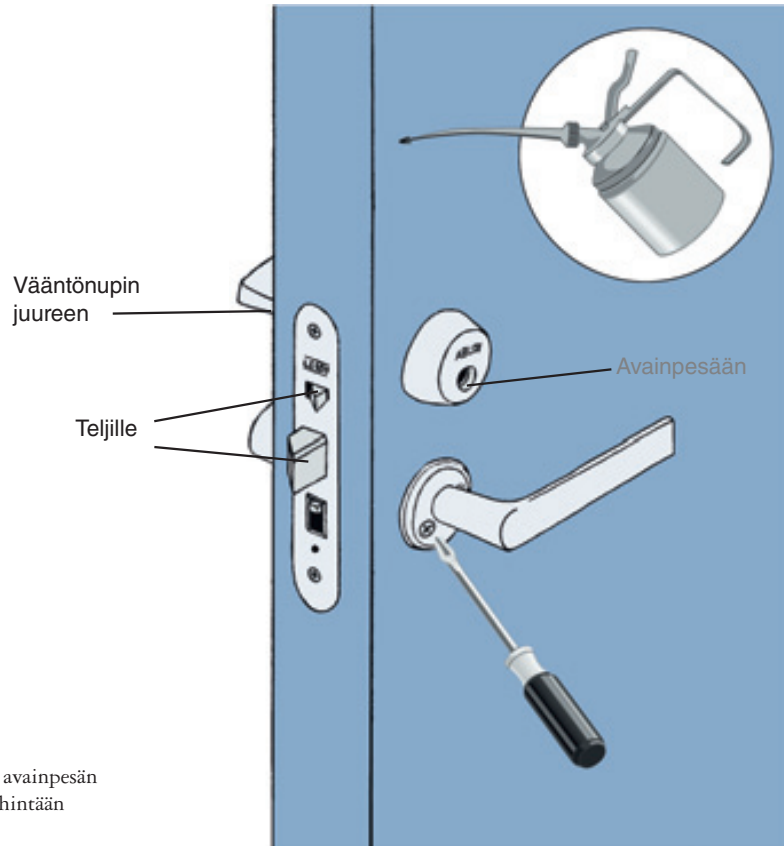
B = 4190, LC204

B



## NÄIN HUOLLAT **ABLOY**® LUKKOJASI

Tekniset laitteet tarvitsevat moitteettoman toiminnan varmistamiseksi säännöllistä huolenpitoa. Niin myös koti-ovesi **ABLOY**®-lukot. Lukkojen omatoiminen huolto on varsin vaivaton toimenpide: Tippa lukkoöljyä lukkojen kriittisiin kohtiin eli:



Tarkista painikkeen, lukon ja avainpesän ruuvien kireys määräajoin, vähintään kerran vuodessa.

Suorita kaikkien lukkojen telkien ja avainpesien (käyttölukot, varmuuslukot, pitkäsalvat) voitelu kerran vuodessa. Tarkista myös, että kaikki kiinnitysruuvit ovat kunnollisesti kiinni. Muista, että lukot toimivat vain, kun ovi on huolellisesti suljettu. Oven lukkiutuminen on aina syytä varmistaa työntämällä ovea – etenkin, jos ovellesi on tiukat tiivisteet. Käyttölukon takalukkiutuessa kuuluu pieni, mutta merkittävä napsahdus: se on merkki siitä, että ovi on varmasti lukossa. **ABLOY**® PRIVAT -käyttölukon lukitustilan voit varmistaa helposti myös painikkeesta kokeilemalla.

Muista aina, että jos avaimesi katoaa tai muutat uuteen asuntoon, sinun on syytä sarjoituttaa asuntosi lukot uudelleen. Uudelleensarjoituksella varmistat, ettei edellisillä asukkailla ole asuntosi avainta.



[www.abloy.fi](http://www.abloy.fi)

Etelä-Suomi  
Abloy Oy  
Lars Sonckin kaari 12  
02600 ESPOO  
puh. 020 599 4200  
fax 020 599 4377

Itä- ja Pohjois-Suomi  
Abloy Oy  
Wahlforssinkatu 20  
80100 JOENSUU  
puh. 020 599 2501  
fax 020 599 2209



An ASSA ABLOY Group brand

Abloy Oy on johtavia lukko- ja rakennushelavalmistajia ja sähköisen lukitusteknologian edelläkävijä.

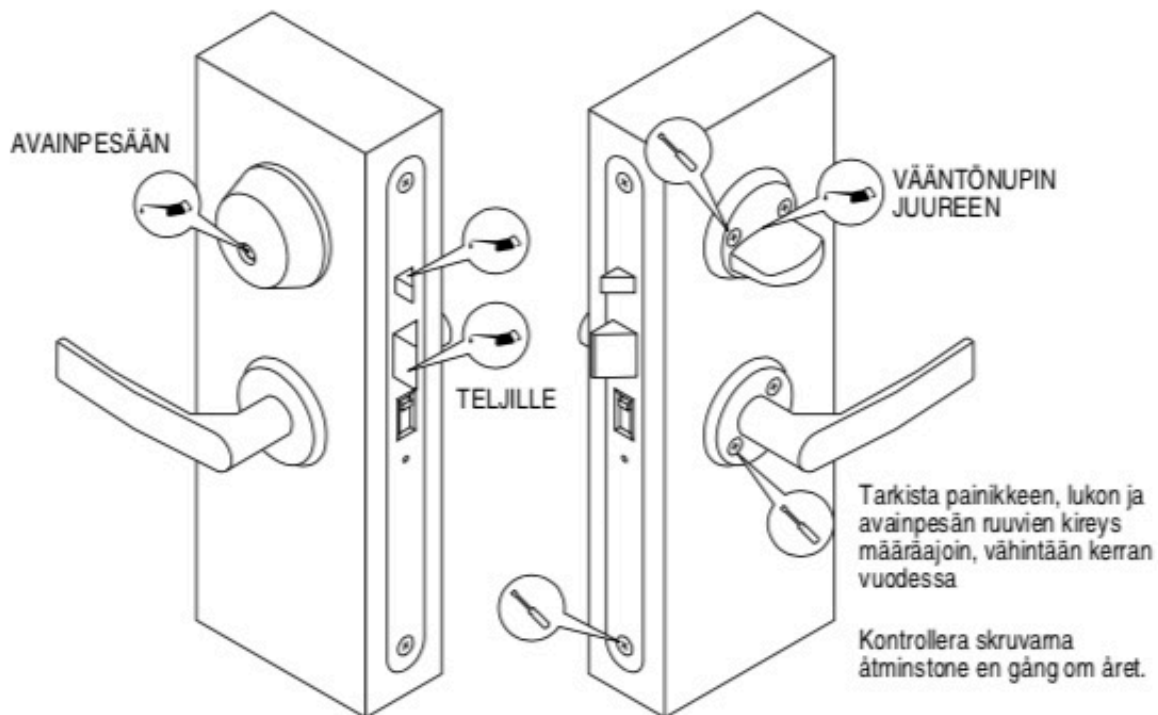
ASSA ABLOY on maailman johtava ovityöstöyritysten toimittaja, joka tarjoaa asiakkailleen turvallisia ja helppokäyttöisiä sovelluksia ovien avaamiseen ja sulkemiseen.

**ASSA ABLOY**

## Näin huollat ABLOY® -lukkojasi Underhåll och använd ABLOY® -låsen rätt

Tekniset laitteet tarvitsevat moitteettoman toiminnan varmistamiseksi säännöllistä huolenpitoa. Niin myös kotiovesi ABLOY® -lukot. Lukkojen omatoiminen huolto on varsin vaivaton toimenpide: tippa ompelukone- tai lukkoöljyä lukkojen kriittisiin kohtiin eli:

För att ett ABLOY® -lås ska fungera klanderfritt bör det användas på rätt sätt och underhållas regelbundet. Till all tur är det otroligt enkelt att själv underhålla ABLOY® -låsen: Smörj låset med en droppe låsolja på alla kritiska delar, dvs. (1) på kolvarna, (2) på cylindern och mellan vred och skytt.



Suorita kaikkien lukkojen telkien ja avainpesien (käyttölukot, varmuuslukot ja pitkäsalvat) voitelu kerran vuodessa. Tarkista myös, että kaikki kiinnitysruuvit ovat kunnollisesti kiinni. Muista, että lukot toimivat vain, kun ovi on huolellisesti suljettu. Oven lukittuminen on aina syytä varmistaa työntämällä ovea - etenkin, jos ovessa on tiukat tiivisteet. Käyttölukon takalukittuessa kuuluu pieni, mutta merkittävä napsahdus: se on merkki siitä, että ovi on varmasti lukossa. Käyttölukon lukitustilan voit tarkistaa helposti myös painikkeesta kokeilemalla.

Muista aina, että jos avaimesi katoaa tai muutat uuteen asuntoon, sinun on syytä sarjoituttaa asuntosi lukot uudelleen. Uudelleensarjoituksella varmistat, ettei edellisillä asukkailla ole asuntosi avainta.

Teettäessäsi kaikki lukitustyöt ABLOY® Valtuutetussa lukkoliikkeessä voit olla varma, että lukitusturvallisuutesi on osaavissa käsissä.

Den här smörjningen en gång om året (för alla brukslås, säkerhetslås och spanjoletter) garanterar att låset fungerar lätt och smidigt. Kontrollera också att skruvorna i låsets vred och handtaget är ordentligt åtdragna. Kom ihåg att inte ens det bästa lås kan hjälpa dig om du inte har stängt dörren ordentligt. En lätt knuff mot dörren garanterar att den går i lås. Om låset är ett ABLOY® PRIVAT (LC100/LC102), kan du försäkra dig om att låset är förreglat genom att känna på handtaget.



## ABLOY® PRIVAT -lukon käyttö ABLOY® PRIVAT -låssets funktion

Hätätilanteiden varalta asuntojen sisäkäyntiovet on saatava sisäpuolelta auki aina ilman avainta joko vääntönupista tai painikkeesta huoneistossa oltessa. Tästä syystä käyntioven käyttölukkoon tulee valita ulkopuolisella avainpesällä ja sisäpuolisella vääntönupilla varustettu lukkolaite.

Eriyisesti asuntojen ulko-oviin suunnitellussa ABLOY® PRIVAT -käyttölukossa (lukkorunko ABLOY® LC100/LC102) on kaksi käyttötoimintoa: lukitusla ja päiväkäyttöla, jotka ovat valittavissa lukkorungon etupinnassa ns. rintalevyssä olevasta valintanapista (A). Valintanapin käyttö voidaan estää lukitsemalla se. Kierä kuusiokoloruuvia (B) noin kaksi kierosta vastapäivään kunnes ruuvi pysähtyy. Älä kiristä ruuvia liian tiukalle.

Lukko on lukituslaissa valintanapin ollessa yläasemossa. Lukon telki takalukittuu automaattisesti oven sulkeuduttua. Lukituksen voi tarkistaa painiketta painamalla (C). Lukko avataan ulkopuolelta avaimella (D) ja sisäpuolelta vääntönupista (E).

Lukko on päiväkäyttölaissa valintanapin ollessa ala-asemossa. Lukko ei lukitu vaan on avattavissa aina painikkeesta. Tätä toimintoa on syytä käyttää vain silloin, kun asunnossa ollaan ja ovesta halutaan kulkea ilman avainta.

ABLOY® LC100/LC102-lukkorungon kanssa on aina käytettävä palautusjouella varustettua painiketta.

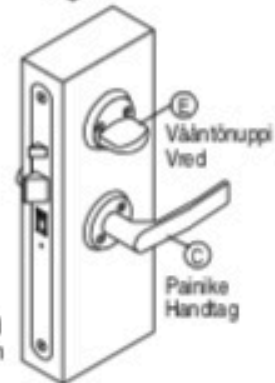
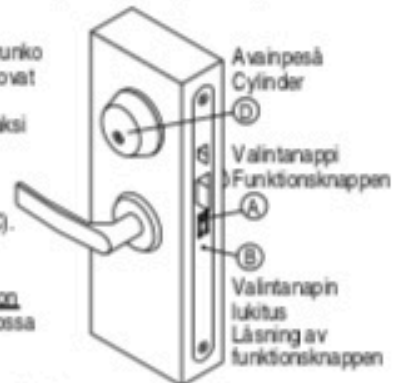
Med tanke på en nödsituation måste bostädernas dörrar alltid kunna öppnas från insidan utan nyckel antingen med vred eller handtag då man är inne i lägenheten. Av denna orsak bör man välja ett bruksläs med cylinder på utsidan och vred på insidan.

Bruksläset ABLOY® PRIVAT (låsset LC100/LC102) har två funktioner: föreggning och dagsbruk, som väljs med funktionsknappen (A) som sitter på låssets främre yta, på den s.k. låsstoppen. För att förhindra användning av funktionsknappen vid sexkantskruven (B) ska två gånger motsols till skruven stannas. Dra inte åt skruven för hårt.

När knappen är i sitt övre läge, är låset i föreggningläge. Låsstoppen går automatiskt i baklås när dörren stängs. Tryck på handtaget för att kontrollera låsningen (C). Låset öppnas från utsidan med nyckeln (D) och från insidan med vredet (E). Använd alltid denna funktion när bostaden är tom, om också bara för en liten stund.

Låset har funktionen dagsbruk när knappen är i sitt nedre läge. Låset går inte i lås utan dörren öppnas då alltid med handtaget. Använd denna funktion endast när någon är hemma och ni vill röra er ut och in genom dörren utan nyckel.

Man måste använda ABLOY® LC100/LC102-låsset måste alltid användas med ett handtag som är utrustat med returfjäder.



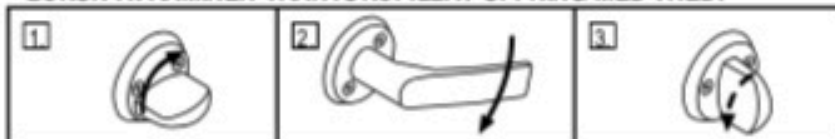
### LUKON AVAAMINEN AVAIMELLA / ÖPPNING MED NYCKELN:



1. Käännä avainta myötäpäivään kunnes avain pysähtyy.
2. Kierä avainta vastapäivään takaisin lähtöasentoon.
3. Ota avain pois lukosta.
4. Avaa ovi painikkeesta.  
Lukko lukittuu oven sulkeuduttua.  
**Älä unohda avainta lukkoon!**

1. Vid nyckeln medsols till nyckeln stannar.
2. Vid nyckeln tillbaka till utgångsläget.
3. Ta nyckeln ur låset.
4. Öppna dörren med handtaget.  
Låset går i lås när dörren stängs.  
Glöm inte nyckeln till låset!

### LUKON AVAAMINEN VÄÄNTÖNUPILLA / ÖPPNING MED VRED:



1. Kierä nuppia myötäpäivään kunnes nappi pysähtyy pystyasentoon.
2. Avaa ovi painikkeesta.
3. Vääntönuppi palautuu automaattisesti vaakaa-asentoon ja lukko lukittuu oven sulkeuduttua.

1. Vid vredet medsols till det stannar.
2. Öppna dörren med handtaget.
3. Vredet återgår automatiskt till horisontellt läge och låset går i lås när dörren stängs.



# 1 VÄÄNTÖRAUDAN VALINTA / VAL AV MEDBRINGARE

Lukkorungon tunnus löytyy rintalevystä  
Låsnumret syns på stolpen



LUKKORUNKO  
LÅSKISTA

LC 100  
LC 102  
LC 120  
LC 204  
LC 190 - 197  
4190 - 4197  
4960

EL502  
EL580  
EL582  
EL590  
EL591

Keskipitkä  
Medellång



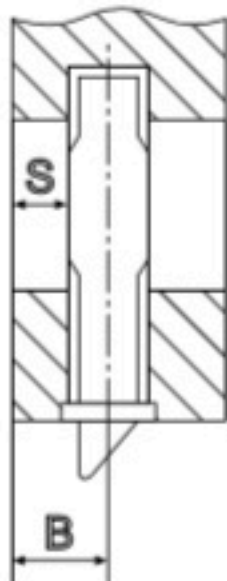
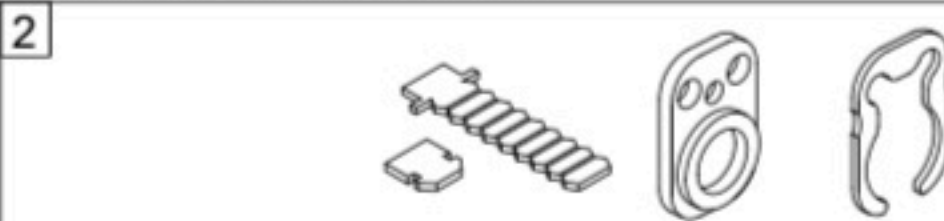
Ilman jatkolevyä  
Utan förlängningsbricka

Lyhyt  
Kort



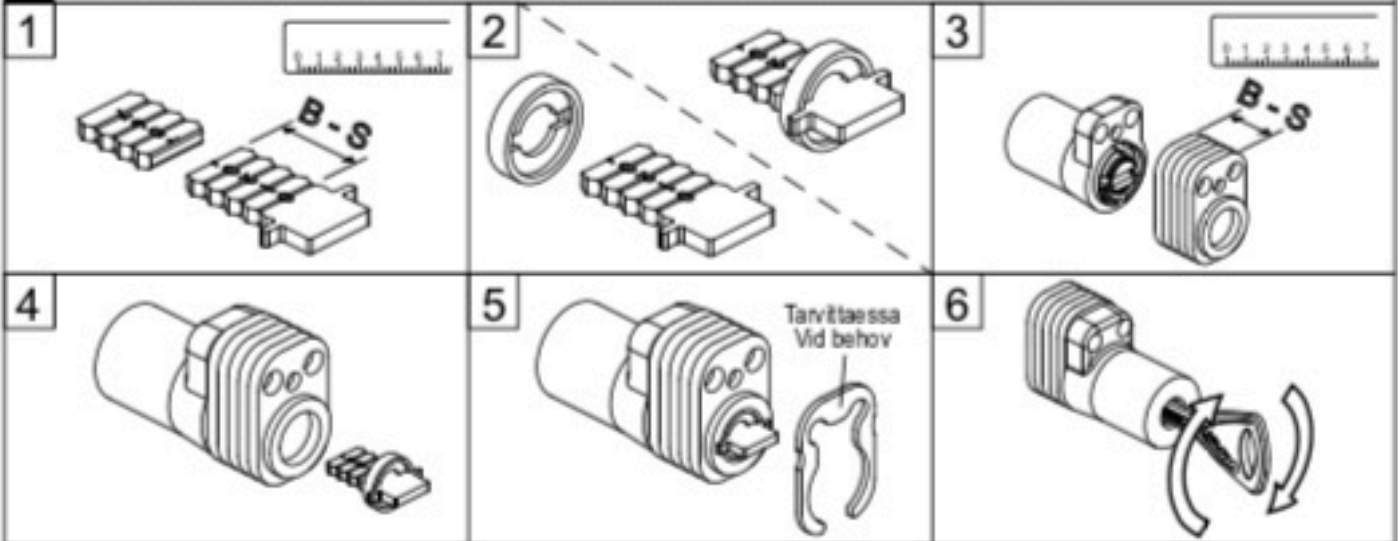
4260

# 2 LUKON PAIKKA OVESSA / PLATS AV LÅSHUSET I DÖRREN

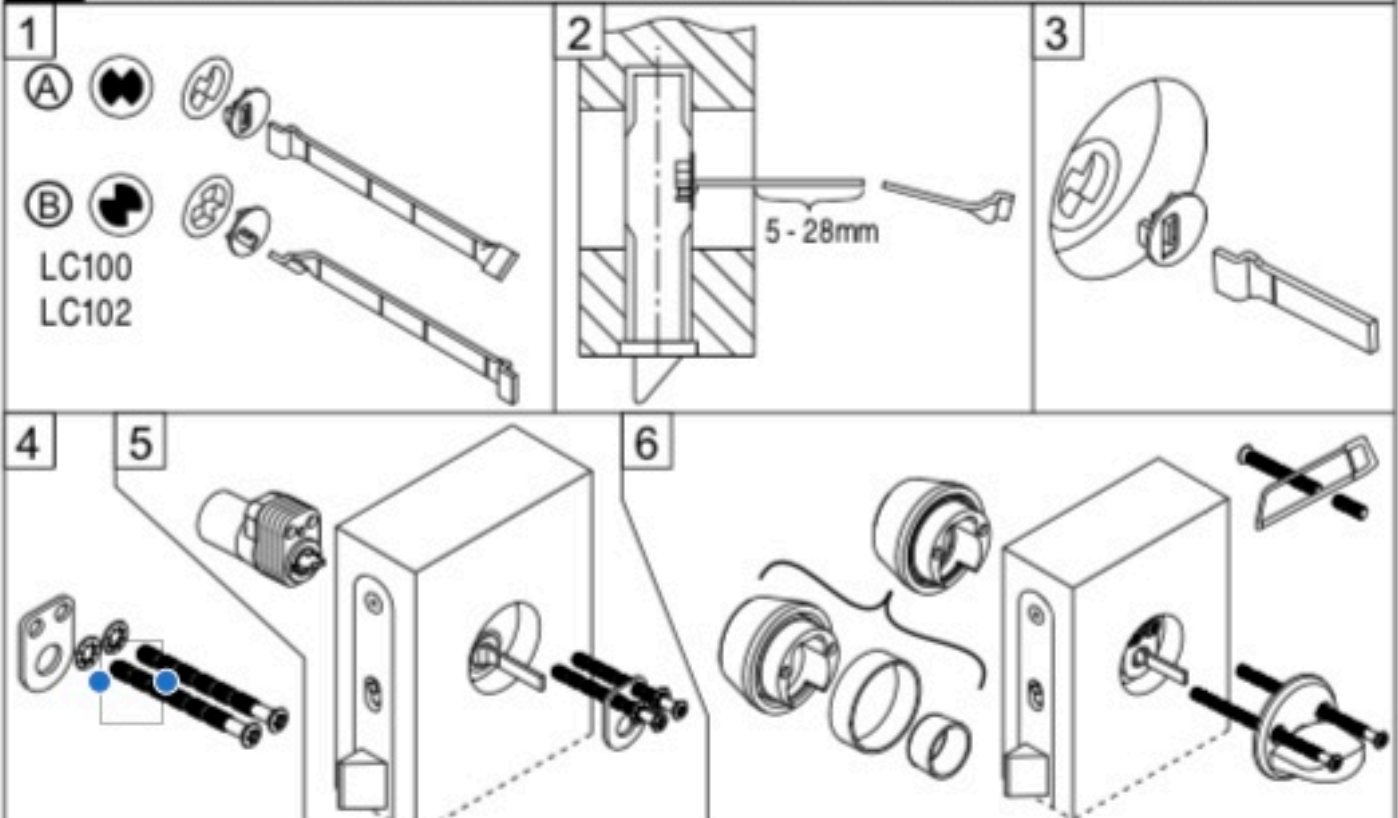


B	S	↓	↓	↓
21,5 - 23	12 - 13,5	0	-	-
23 - 24,5	13,5 - 15	0	-	1
24,5 - 26	15 - 16,5	1	1	-
26 - 27,5	16,5 - 18	1	1	1
27,5 - 29	18 - 19,5	2	2	-
29 - 30,5	19,5 - 21	2	2	1
30,5 - 32	21 - 22,5	3	3	-
32 - 33,5	22,5 - 24	3	3	1
33,5 - 35	24 - 25,5	4	4	-
35 - 36,5	25,5 - 27	4	4	1
36,5 - 38	27 - 28,5	5	5	-
38 - 39,5	28,5 - 30	5	5	1
39,5 - 41	30 - 31,5	6	6	-
41 - 42,5	31,5 - 33	6	6	1
42,5 - 44	33 - 34,5	7	7	-
44 - 45,5	34,5 - 36	7	7	1
45,5 - 47	36 - 37,5	8	8	-
47 - 48,5	37,5 - 39	8	8	1

### 3 AVAINPESÄN PITUUDEN JATKAMINEN / FÖRLÄNGNING AV CYLINDERN



### 4 A CY001 AVAINPESÄ + VÄÄNTÖNUPPI ASENNUS / CYLINDER + VRED MONTERING



### 4 B CY002 AVAINPESÄPARI ASENNUS / DUBBELCYLINDER MONTERING

